

D01124901C

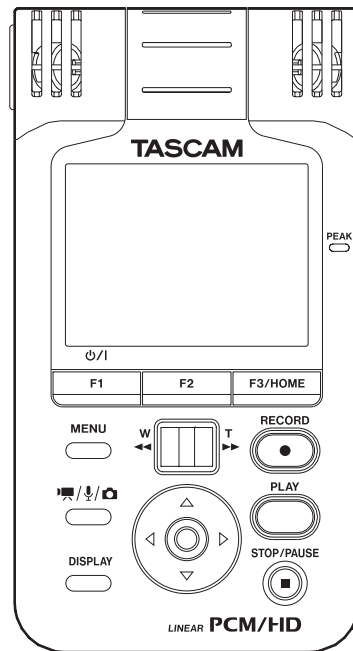
# TASCAM

# DR-V1HD

HD Video / Linear PCM Recorder

# HDMI®

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE



取扱説明書

# 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。



## 警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く

万一、異常が起きたら

煙が出たり、変なおいや音がするときは

機器の内部に異物や水などが入ったときは

この機器を落としたり、カバーを破損したときは

すぐに機器本体の電源を切り、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。



禁止

ACアダプターのコードを傷つけない

ACアダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない

ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない

コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一、ACアダプターのコードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）をご依頼ください。

付属のACアダプターや電源コードを他の機器に使用しない

故障・火災・感電の原因となります。



**警告** 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



禁止

**交流100ボルト以外の電圧で使用しない**

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

**この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない**

火災・感電の原因となります。

**航空機の離着陸時には使用しない**

航空機の運行の安全に支障を及ぼすおそれがあるため、離着陸時の使用は航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。



指示

**ACアダプターの電源プラグにほこりをためない**

ACアダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的(年1回くらい)にACアダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。



分解禁止

**この機器のカバーは絶対に外さない**

カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご依頼ください。

**この機器を改造しない**

火災・感電の原因となります。

## 安全にお使いいただくために



### 注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く

移動させる場合は、電源をスタンバイにし、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す  
コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く  
通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。



指示

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する  
また、接続は指定のコードを使用する

電源を入れる前には、音量を最小にする  
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

この機器はコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする  
異常が起きた場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。

この機器には、別売の専用ACアダプターや電源コードを使用する  
それ以外の物を使用すると、故障・火災・感電の原因となります。



## 注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない  
 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない  
 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない  
 火災・感電やけがの原因となることがあります。

ACアダプターの電源プラグを抜くときは、ACアダプターの電源コードを引っ張らない  
 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。  
 必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししない  
 感電の原因となることがあります。



注意

5年に一度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。  
 内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

## 安全にお使いいただくために

### 電池の取り扱いについて

本機は、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。



#### **警告** 乾電池に関する警告



禁止

乾電池は絶対に充電しない  
破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。



#### **警告** 電池に関する警告



強制

電池を入れるときは、極性表示(プラスとマイナスの向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる

間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長時間使用しないときは電池を取り出しておく

液がもれて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



**警告** 電池に関する警告



禁止

指定以外の電池は使用しない  
 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない  
 破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損することがあります。

金属製の小物類に携帯、保管しない  
 ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

加熱したり、火や水の中に入れない  
 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



分解禁止

分解しない  
 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。



注意

保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属のものと接触しないようにテープなどで端子を絶縁してください。

使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法に従って捨ててください。

# 目次

安全にお使いいただくために .....	2	第3章 準備 .....	31
電池の取り扱いについて .....	6	電源の準備 .....	31
第1章 はじめに .....	11	電源について .....	31
本機の概要 .....	11	単3形電池で使用する .....	31
本製品の構成 .....	12	ACアダプターで使用する (別売) .....	31
本書の表記 .....	12	電源をオンにする / オフにする .....	32
商標および著作権に関して .....	13	電源をオンにする .....	32
microSDカードについて .....	13	電源をオフにする .....	33
取り扱い上の注意 .....	13	日時を設定する .....	33
設置上の注意 .....	14	microSDカードを挿入する / 取り出す .....	34
結露について .....	14	挿入する .....	34
製品のお手入れ .....	14	取り出す .....	35
レンズのお手入れ .....	14	microSDカードを使えるようにする .....	35
ユーザー登録について .....	14	内蔵スピーカーで再生する .....	36
アフターサービス .....	15	モニター用機器を接続する .....	36
第2章 各部の名称と働き .....	16	動作モードの設定 .....	37
トップパネル .....	16	第4章 録画する / 録音する .....	38
リアパネル .....	18	動作モードを設定する .....	38
左サイドパネル .....	19	録音ファイル形式 / サンプリング周波数 /	
右サイドパネル .....	19	録画画像サイズを設定する .....	38
ボトムパネル .....	20	記録可能時間表示 .....	39
ホーム画面 .....	21	ファイルの保存先を設定する .....	39
動画モード / 音声モード .....	21	入力の設定をする .....	40
静止画モード .....	25	設置または接続をする .....	41
メニューの構成 .....	27	内蔵マイクで録音する .....	41
メニューを使う .....	28	外部マイクで録音する (MIC IN) .....	41
操作の基本 .....	30	外部機器から録音する (LINE IN) .....	42
		入力レベルを調節する .....	42
		記録 (録画 / 録音) する .....	44



カメラの倍率を調節する.....	45	ファイル操作.....	60
入力音を上書きして記録する（アフターレック）.....	45	フォルダー操作.....	61
上書きするファイルを選択する.....	45	<b>第7章 動画または音声を再生する.....</b>	<b>62</b>
アフターレックを実行する.....	46	動作モードを設定する.....	62
ファイルインクリメント.....	46	再生の音量を調節する.....	62
記録中に手動でファイルインクリメントする.....	46	再生範囲を設定する.....	63
ファイルサイズで自動的にファイルインクリメントする.....	47	BROWSE画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する（1）.....	64
記録機能を自動で動作させる（AUTO REC）.....	47	BROWSE画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する（2）.....	65
記録開始の少し前から記録する（PRE REC）.....	49	プレイリスト.....	66
ホワイトバランスを設定する.....	50	プレイリストに登録する.....	67
開始を遅らせて記録する（セルフタイマー）.....	51	プレイリストを編集する.....	67
音声ファイルの背景用画像を撮影する.....	51	再生するファイルを選択する（スキップ）.....	69
ファイルを分割する（DIVIDE）.....	52	再生する.....	69
記録時間について.....	54	停止する.....	69
<b>第5章 静止画を撮影する（キャプチャ）.....</b>	<b>55</b>	早戻し／早送りをする（サーチ）.....	69
動作モードを設定する.....	55	早戻し／早送りスピードの設定.....	70
画像サイズの設定.....	55	繰り返し再生する（REPEAT）.....	71
ファイルの保存先を設定する.....	55	IN-OUTループ再生する.....	72
カメラの倍率を調節する（静止画モード時）.....	56	特殊な再生（VSA機能）.....	73
セルフタイマーを使う（静止画モード時）.....	56	再生スピードを変える（1）.....	73
静止画を撮影する.....	56	再生スピードを変える（2）.....	73
<b>第6章 ファイルやフォルダーの操作（BROWSE画面）.....</b>	<b>57</b>	選択ファイルを削除する.....	74
動作モードを設定する.....	57	動画共有サイトへのアップロードについて.....	74
BROWSE画面内のナビゲーション.....	58	<b>第8章 静止画を連続して見る（スライドショー）.....</b>	<b>75</b>
BROWSE画面内の表示内容.....	58	動作モードを設定する.....	75
サムネイル表示モード.....	58	表示時間を設定する.....	75
リスト表示モード.....	59	静止画を連続して見る.....	75
表示アイコンについて.....	59	スライドショーを止める.....	76

# 目次

<b>第9章 パソコンと接続する</b> .....	<b>77</b>	接続するパソコンの動作条件.....	91
パソコンへファイルを取り出す.....	78	一般.....	91
パソコンからファイルを取り込む.....	78	寸法図.....	92
パソコンとの接続を解除する.....	78		
<b>第10章 各種設定および情報表示</b> .....	<b>79</b>	<b>第14章 ソフトウェアなどに関する重要なおしらせ</b> .....	<b>93</b>
情報を見る (INFORMATION).....	79	ソフトウェア使用許諾契約書.....	93
ファイル情報画面 (FILE).....	79	GNU GPL適用ソフトウェアに関するお知らせ.....	94
カード情報画面 (CARD).....	80	本製品のソフトウェアライセンスについて.....	94
システム情報画面 (SYSTEM).....	80	GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991.....	95
環境設定 (SETUP).....	81	BSD適用ソフトウェアに関するお知らせ.....	101
電源のオートオフ設定.....	81	BSD.....	101
バックライトのオートオフ設定.....	81		
バックライトの輝度調節.....	81		
電池の種類の設定.....	81		
ファイル名の形式を設定する.....	82		
ファイル名の形式.....	82		
文字 (WORD) の設定.....	82		
フォーマットする.....	83		
初期設定に戻す.....	84		
<b>第11章 メッセージ</b> .....	<b>85</b>		
<b>第12章 トラブルシューティング</b> .....	<b>87</b>		
<b>第13章 仕様</b> .....	<b>89</b>		
定格.....	89		
入出力定格.....	89		
アナログオーディオ入出力定格.....	89		
コントロール入出力定格.....	90		
オーディオ性能.....	90		

このたびは、TASCAM HD Video / Linear PCM Recorder DR-V1HDをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。

## 本機の概要

- 記録メディアにmicroSD / SDHCカードを採用したコンパクトサイズのHDビデオ/リニアPCMレコーダー
- 高品質ステレオ録音可能な指向性マイクを搭載
- 1280×720pのHDモードをサポート
- 180度回転可能なカメラレンズとマイクで自分撮りも可能
- 1×～4×デジタルズーム (0.1倍単位)
- 静止画撮影可能 (デジタルカメラ)
- 44.1k/48k/96kHz、16/24ビットのリニアPCM (WAV形式) 録音が可能
- ミニHDMI端子 (TypeC) 経由でTVでHDモード表示可能
- 2.4インチ240×320ドットのTFTカラーディスプレイ
- 動画モード/音声モード/静止画モード
- 1～10秒間隔の静止画スライドショーが可能
- 記録 (録画) したファイルを再生しながら、再生音に入力音を上書きして新しいファイルとして記録 (録画) することができるアフターレック機能
- 0.6Wモノラル出力のスピーカー内蔵
- 音声の入力レベルを感知して、自動で記録 (録画/録音) の開始が行えるオートレック機能
- 記録 (録画/録音) を継続したまま、最大ファイルサイズ (2GB) を超えた場合、自動的に新たなファイルに記録 (録画/録音) を開始することが可能
- 記録 (録画/録音) を継続したまま、任意の位置またはオートレック機能によりファイルを更新できるファイルインクリメント機能
- 記録 (録画/録音) 開始2秒前からの音を記録 (録画/録音) できるプリレック機能
- 入力レベルを自動的になるべく均一にするオートゲインコントロール機能
- 入力レベルが大きすぎる場合に、適度なレベルに自動的に調節するリミッター機能
- 低域ノイズの低減に便利なローカットフィルター
- 音程を変えずに再生スピードを0.5倍から1.5倍まで (0.1倍単位) 可変できるVSA機能
- リピート再生機能およびIN-OUTループ再生機能
- プレイリスト機能
- オートパワーオフ機能 (3/5/10/30分、またはオフ)
- 任意の位置でファイルを分割するDIVIDE機能
- ファイル名の形式をユーザーワードまたは日付のどちらかに設定可能
- 1/8" 外部ステレオマイク/ライン入力端子 (プラグインパワー対応)
- 1/8" ライン出力/ヘッドホン出力端子
- Mini-BタイプUSB 2.0端子
- 単3形電池3本またはACアダプター (別売: TASCAM PS-P520) で駆動
- 本体に三脚取り付け用穴を装備

# 第1章 はじめに

## 本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお開梱は、本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| ● 本体                  | x1 |
| ● microSDカード（本体差し込み済） | x1 |
| ● 単3形アルカリ乾電池          | x3 |
| ● USBケーブル（0.8m）       | x1 |
| ● 取扱説明書（本書）           | x1 |

## 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「MENUボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を“ON”のように“\_”で括って表記します。
- ディスプレーの下に並ぶ3つのボタン（F1、F2、F3ボタン）をファンクションボタンと呼びます。また、各画面表示の下部に表示される機能を、ボタン名の後ろにカッコ付きで表記する場合があります。  
例：F1 (φ/I) “[YES]” ボタン、
- 「microSDメモリーカード」のことを「microSDカード」と表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を《DR-V1HD》のように《 》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

### ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

### メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

### 注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

## 商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々における、HDMI ライセンシングの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。



- Microsoft, Windows, Windows XP, Windows Vista, および Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple, Macintosh, iMac, Mac OS および Mac OS X は、Apple Inc. の商標です。
- EVOLTAは、パナソニック株式会社の登録商標です。
- eneloopは、三洋電機株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

## microSDカードについて

本機では、microSDカードを使って記録（録画／録音／撮影）や再生を行います。

使用できるカードは、64MB～2GBのmicroSDカード、および4GB～32GBのmicroSDHCカードです。

全てのmicroSDカードで動作を保証するものではありません。TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) には、当社で動作確認済みのmicroSDカードのリストが掲載されていますので、ご参照ください。もしくは、タスカムカスタマーサポートまでお問い合わせください。

## 取り扱い上の注意

microSDカードは、精密にできています。カードやスロットの破損を防ぐため、取り扱いにあたって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高い、あるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を乗せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。

# 第1章 はじめに

## 設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏0度～35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
  - 振動の多い場所
  - 窓際などの直射日光が当たる場所
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  - ほこりの多い場所
  - 直接雨などの水が当たる場所
- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。

## 結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置したあと、電源を入れてお使いください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影するとき、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

## 製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷めたり色落ちさせる原因となります。

## レンズのお手入れ

レンズに指紋や油脂などが付いた場合は、柔らかい布で表面をきれいに拭いてください。

## ユーザー登録について

ユーザー登録については、巻末をご参照ください。

## アフターサービス

- この製品には、保証書を巻末に付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししていますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。

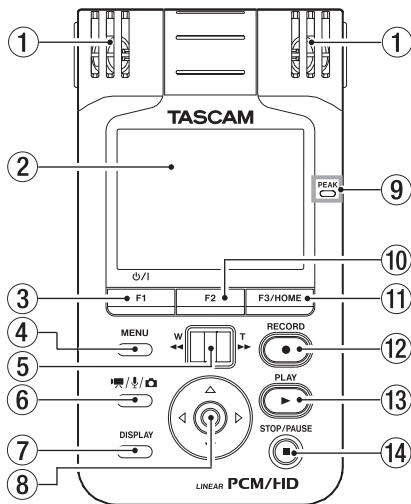
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（記録内容などの補償）の責については、ご容赦ください。  
本機を使ったシステム内のハードディスクなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。

  - 型名、型番 (DR-V1HD)
  - 製造番号 (Serial No. : 電池ケース内にあるラベルに製造番号が印字されています。→ 20ページ「ボトムパネル」)
  - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。

- 当社は、この製品の補修用性能部分（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

## 第2章 各部の名称と働き

### トップパネル



#### ① 内蔵ステレオマイク

エレクトレットコンデンサタイプのアステレオマイクです。このマイクを入力ソースにするには、“Input Setting”画面の“INPUT SELECT”項目を“MIC”に設定します。なお、右サイドパネルのMIC/LINE IN端子に外部マイクを接続すると、接続した外部マイクが優先になり、内蔵ステレオマイクが無効になります。

#### ② ディスプレー

解像度240×320ドットの2.4インチTFTカラーディスプレイです。動画、静止画および各種情報を表示します。

#### ③ F1 (⏻) ボタン

長く押しすと、電源のオン/オフの切り換えを行います。ディスプレイに表示している画面によって、機能が変化するボタンです。ディスプレイ表示画面の下部に表示中の機能が現在割り当てられている機能です。(→ 30ページ「操作の基本」)

#### ④ MENUボタン

ホーム画面表示中にこのボタンを押すと、“MENU”画面が表示されます。各種設定画面を表示中にこのボタンを押したときも、“MENU”画面に戻ります。“MENU”画面表示中にこのボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

#### ⑤ ズームレバー

動作モードが動画モードまたは静止画モードのとき、記録(録画/撮影)待機中にレバーをW [◀◀] 側またはT [▶▶] 側に押しすとデジタルズームの倍率を変更します。W [◀◀] 側に押しすとズームアウトし、T [▶▶] 側に押しすとズームインします。動作モードが動画モードまたは音声モードのとき、W [◀◀] 側に押しすと早戻しを行い、T [▶▶] 側に押しすと早送りを行います。

#### ⑥ 動作モードボタン

停止中にこのボタンを押すと、動作モードを切り換えることができます。





### 注意

“BROWSE”画面および“PLAYLIST”画面では、このボタンで選択した動作モードに対応したファイルのみが表示されます。

### メモ

各動作モードでの記録（録画／録音／撮影）対象ファイルまたは再生対象ファイル（拡張子）は、以下の通りです。

動画モード	: .mov
音声モード	: .wav
静止画モード	: .jpg

### ⑦ DISPLAYボタン

このボタンを押すと、画面内の情報を非表示にして画像だけを表示します。再度、このボタンを押すと元に戻ります。

“Setup”画面の“DIMMER”項目が“ALL OFF”のときには、このボタンを押したあとと暫くの間、ディスプレイが点灯します。ただしインジケータは、点灯する条件を満たしている場合（録画中のRECインジケータなど）のみ点灯します。

### ⑧ ポインティングスティック

各種設定画面の操作では、選択されている項目を決定するとき中央で押します。

各種設定画面表示中にスティックを上（▲）に押すと、画面内のカーソルを上に移動します。ホーム画面表示中に上（▲）に押すと、出力のボリュームを上げます。

各種設定画面表示中にスティックを下（▼）に押すと、画面内のカーソルを下に移動します。ホーム画面表示中に下（▼）に押すと、出力のボリュームを下げます。

各種設定画面表示中にスティックを左（◀）に押すと、画面内のカーソルを左へ移動します。再生中あるいは途中で停止しているときに左（◀）に押すと、曲の先頭に戻ります。停止中に左（◀）に押すと、

手前のファイルにスキップします。

“BROWSE”画面表示中に左（◀）に押すと、階層を戻ります。各設定画面表示中にスティックを右（▶）に押すと、画面内のカーソルを右に移動します。再生中や停止中に右（▶）に押すと、次のファイルにスキップします。“BROWSE”画面表示中に右（▶）に押すと、階層を進みます。

### ⑨ PEAKインジケータ

録音する音のレベルが歪む直前（-2dB）に赤く点灯します。

### ⑩ F2ボタン

ディスプレイに表示している画面によって、機能が変わるボタンです。ディスプレイ表示画面の下部に表示中の機能が現在割り当てられている機能です。（→ 30ページ「操作の基本」）

### ⑪ F3/HOMEボタン

ディスプレイに表示している画面によって、機能が変わるボタンです。ディスプレイ表示画面の下部に表示中の機能が現在割り当てられている機能です。（→ 30ページ「操作の基本」）各種設定画面を表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。

### ⑫ RECORD [●]ボタン

停止中に押すと、記録（録画／録音／撮影）待機状態になります。動画モードおよび音声モードでは、記録（録画／録音）待機中に押すと、記録（録画／録音）が始まります。このときRECインジケータが点灯します。記録（録画／録音）中に押すと、記録（録画／録音）一時停止になります。

静止画モードでは、記録（撮影）待機中に押すと静止画を撮影します。

## 第2章 各部の名称と働き

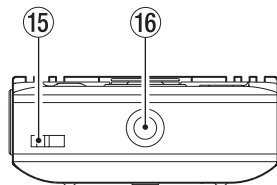
### ⑬ PLAY [▶]ボタン

ホーム画面表示中で停止中に押すと、再生を始めます。  
一時停止中に押すと、一時停止した場所から再生を再開します。  
静止画モードの場合は、スライドショーを開始します。  
停止中、一時停止中および再生中にこのボタンを長押しすると、“BROWSE”画面もしくは“PLAY LIST”画面の最後に表示した画面を表示します。

### ⑭ STOP/PAUSE [■]ボタン

再生中に押すと、その位置で一時停止します。  
一時停止中に押すと、ファイル先頭に戻り停止状態となります。  
記録（録画／録音／撮影）待機中に押すと、記録（録画／録音／撮影）待機状態を解除します。  
記録（録画／録音）中に押すと、記録（録画／録音）を停止します。

## リアパネル



### ⑮ ストラップホルダー

ストラップを取り付けます。

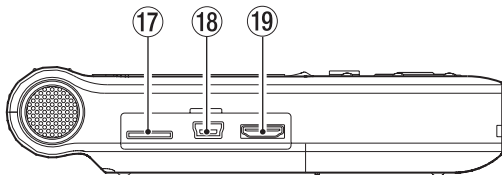
### ⑯ 三脚取り付け用穴（1 / 4インチ）

本体に三脚を取り付けることができます。

#### 注意

- 本体の落下を防ぐため、三脚のネジを確実に締めてください。
- 三脚に本体を取り付けて使用する場合は、三脚を水平な場所に置いてください。
- 三脚によっては、ネジの規格の違いにより、直接取り付けられない場合があります。その場合は、市販の変換アダプターをご使用ください。
- 規格よりもネジが長い三脚では、本体をしっかりと固定できない場合があります。その場合は、三脚穴とネジの間にワッシャーなどのスペーサーを使用してしっかりと固定してください。

### 左サイドパネル



- ①7 **microSDカードスロット**  
 microSDカードを挿入／取り出しをします。( → 34ページ「microSDカードを挿入する／取り出す」)
- ①8 **USB端子**  
 付属のUSBケーブルを使って、パソコンと接続するためのUSBポートです。( → 77ページ「パソコンと接続する」)

#### 注意

- パソコンとの接続は、USBハブを経由せずに直接接続してください。
- バスパワーには対応していません。このため、USBを接続しても電池を消耗します。

- ①9 **ミニHDMI端子 (TypeC)**  
 別売のミニHDMI端子 (TypeC) ケーブルを使ってテレビなどに接続し再生するために使う端子です。HDMI対応テレビなどで、より高画質な映像と高音質な音声を楽しめます。

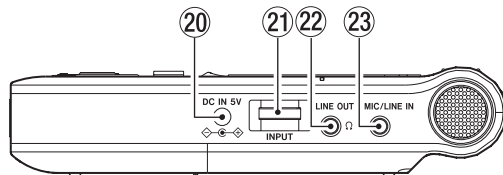
#### 注意

再生ファイル音声のビット長が24ビットの場合にミニHDMI端子から出力される音声は、16ビットに変換されて出力されます。

#### メモ

“SD-VGA” の時は画面に対しフルサイズでアイコンなどの情報表示がされますが、“HD-720p” の時は画面に対し左上に表示されます。

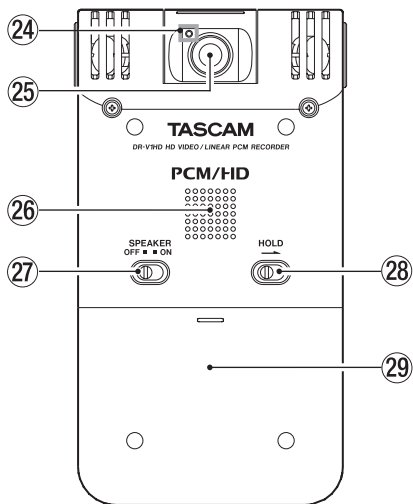
### 右サイドパネル



- ②0 **DC IN 5V端子**  
 別売の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520) を接続します。
- ②1 **INPUTボリューム**  
 内蔵マイクまたはMIC/LINE IN端子からの入力信号の入力レベルを調節します。
- ②2 **Ω /LINE OUT端子**  
 ヘッドホンまたはステレオミニジャックケーブルを使用して外部機器のライン入力端子と接続します。
- ②3 **MIC/LINE IN端子**  
 ステレオミニジャックのマイク入力またはライン入力端子です。プラグインパワータイプのマイクに対応しています。設定は、“Input Setting” 画面の“PLUG IN POWER” 項目を使って行います。( → 40ページ「入力の設定をする」)

## 第2章 各部の名称と働き

### ボトムパネル



#### ②4 RECインジケータ

記録（録画／録音）時に点灯します。また、セルフタイマー設定時、カウントダウン中に点滅します。

#### ②5 レンズ

#### ②6 内蔵モノラルスピーカー

モニター用の内蔵スピーカーです。

#### ②7 SPEAKERスイッチ

ONに設定すると内蔵スピーカーから音が出力されます。

ONにした場合でも、以下の場合には音声が出力されません。

- 記録（録画／録音）待機中および記録（録画／録音）中の場合
- $\Omega$  / LINE OUT端子にヘッドホンなどが接続されている場合

#### ②8 HOLDスイッチ

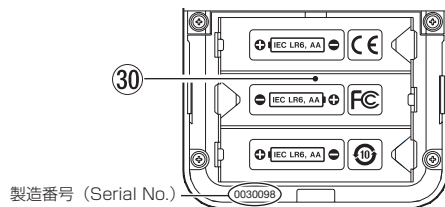
矢印の方向へ移動するとホールド（誤動作防止）機能が働きます。

ホールド中は、全てのボタン操作を受け付けません。

#### ②9 電池ケース蓋

#### ③0 電池ケース

本機の電源になる電池（単3形電池、3本）を収納するケースです。  
（→ 31ページ「単3形電池で使用する」）

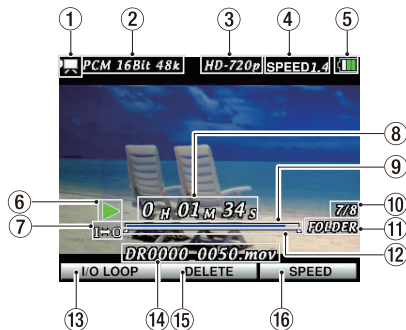


製造番号 (Serial No.)

### ホーム画面




#### 動画モード／音声モード

#### 停止中／再生中表示



#### ① 動作モード表示

現在の動作モードをアイコン表示します。

-  : 動画モード
-  : 音声モード
-  : 静止画モード

#### ② 再生ファイル形式／サンプリング周波数表示

再生するファイルの形式／サンプリング周波数を表示します。

#### ③ 画像サイズ表示

現在の画像サイズを表示します。

表示	内容
表示なし	音声モードでキャプチャ画像がない場合
0.3M	音声モードでキャプチャ画像が 640×480の場合
0.9M	音声モードでキャプチャ画像が 1280×720の場合
SD-VGA	動画モードの再生画像がSD画像の場合
HD-720p	動画モードの再生画像がHD画像の場合





#### ④ 再生速度の設定状況



現在の再生速度（“0.5”～“1.5”）を表示します。

例 “SPEED 0.5”  
“SPEED 1.5”

#### ⑤ 電源供給の状態表示

電池駆動時は、電池アイコンを表示します。

電池残量に応じて、目盛りが表示されます（、、、）。

目盛り表示がなくなると、 が点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフになります。記録（録画／録音）中に点滅状態となった場合は、記録（録画／録音）を終了した後オフになります。別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）使用時は、 を表示します。

#### メモ

残量がなくなる前でも記録（録画／録音）など負荷の大きい動作を行おうとすると、“Battery empty”の警告のポップアップメッセージが出る場合があります。

## 第2章 各部の名称と働き

### ⑥ レコーダーの動作状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。



：停止中



：早送り中



：一時停止中



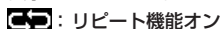
：早戻し中



：再生中

### ⑦ IN-OUTループ再生／リピート再生／分割 (DIVIDE) モードの設定状態表示

表示なし：リピートオフ



：リピート機能オン

再生範囲内のリピート再生を行う



：シングルリピート機能オン

選択されたファイルのみのリピート再生を行う



：IN-OUTループ再生機能オン

IN-OUT範囲内のループ再生を行う



：分割 (DIVIDE) モード機能オン

録音したファイルを任意の位置で2つに分割する

### ⑧ 経過時間表示

再生中のファイルの経過時間 (時：分：秒) を表示します。

### ⑨ 再生位置表示

現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

### ⑩ 再生ファイル番号／総ファイル数

現在のファイル番号／再生対象エリアにある総ファイル数を表示します。

### ⑪ 再生範囲表示

現在の再生ファイルの範囲を表示します。

ALL : microSDカード内の全ファイル

FOLDER : 選択したフォルダー内の全ファイル  
(サブフォルダー内のファイルも含まれます)

P.LIST : プレイリストに登録されたファイル

### ⑫ IN-OUTループ再生のIN点 (始点)、OUT点 (終点) の設定状況

IN-OUTループ再生の始点／終点の設定状況を表示します。

始点を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に“”アイコンが表示されます。

終点を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に“”アイコンが表示されます。

分割 (DIVIDE) モード時はループ始点終点表示がなくなり、現在位置に“”アイコンが表示されます。

### ⑬ F1 ( / ) ボタンの機能表示

F1 ( / ) “[YES]” ボタンに現在割り当てられている機能を表示します。

I/O LOOP : IN-OUTループ再生を設定する

“--I/O LOOP SETTING--” をポップアップ表示します。

( → 72ページ 「IN-OUTループ再生する」 )

### ⑭ ファイル情報表示

再生中のファイルのファイル名を表示します。

#### メモ

日本語などの多バイト文字のファイル名は、正しく表示できません。

### ⑮ F2ボタンの機能表示

F2ボタンに現在割り当てられている機能を表示します。

DELETE : ファイルを削除する確認のポップアップメッセージ

“--FILE DELETE--” を表示します。

( → 74ページ 「選択ファイルを削除する」 )

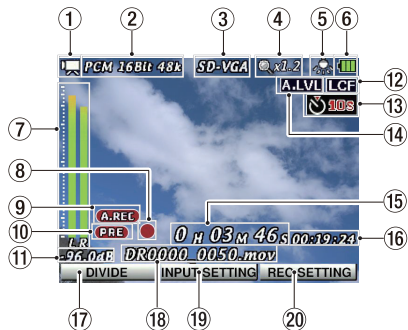
### ⑬ F3/HOMEボタンの機能表示

F3/HOMEボタンに現在割り当てられている機能を表示します。

**SPEED**：再生スピードを設定する**“--SPEED CONTROL--”**をポップアップ表示します。  
(→ 73ページ「再生スピードを変える (1)」)



### 記録（録画／録音）状態表示

記録（録画／録音）待機中または記録（録画／録音）中は、以下の画面を表示します。



### ① 動作モード表示

現在の動作モードを表示します。

- ：動画モード
- ：音声モード

### ② 記録ファイル形式／サンプリング周波数表示

記録（録画／録音）するファイルの形式／サンプリング周波数を表示します。


### ③ 画像表示

現在の画像サイズを表示します。

表示	内容
表示なし	音声モードでキャプチャ画像がない場合
0.3M	音声モードでキャプチャ画像が 640×480の場合
0.9M	音声モードでキャプチャ画像が1280×720の場合
SD-VGA	動画モードの再生画像がSD画像の場合
HD-720p	動画モードの再生画像がHD画像の場合


### ④ デジタルズーム倍率表示

現在のデジタルズーム倍率を表示します。ただし、1倍のときには表示しません。

：1.2倍デジタルズームであることを表します。

### ⑤ ホワイトバランスの状態表示

現在のホワイトバランスの設定状況を以下のアイコンで表示します。

表示	選択肢	内容
	AUTO (初期値)	撮影シーンに応じて自動的に調節する
	BLUB LIGHT	白熱電球の灯りで撮影する
	FL LIGHT	昼白色の蛍光灯の灯りで撮影する
	STAGE LIGHT	ステージなどで撮影する
	SUNLIGHT	晴天の屋外で撮影する
	CLOUDY	曇天の屋外で撮影する

### ⑥ 電源供給の状態表示

電源供給の状態をアイコン表示します。

停止中／再生中表示の「⑤ 電源供給の状態表示」と同じ表示です。

## 第2章 各部の名称と働き

### ⑦ レベルメーター／ピーク表示

インプットモニターがオフのときには、再生音のレベルを表示します。録音または再生するファイルがステレオの場合はL/Rの2本を表示し、バーの下に“**L R**”と表示します。ファイルがモノの場合は1本しか表示されず、“**MONO**”と表示されます。

### ⑧ レコーダーの動作状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

 : 記録（録画／録音）待機中

 : 記録（録画／録音）中

### ⑨ オートレック機能の設定状態表示

オートレック機能がオンかつ記録（録画／録音）待機中または記録（録画／録音）中は、“**A.REC**”アイコンが表示されます。

### ⑩ ブリレック機能の設定状態表示

ブリレック機能が“ON”かつ記録（録画／録音）待機中または記録（録画／録音）中は、“**PRE**”アイコンが表示されます。

### ⑪ ピーク値のデシベル（dB）表示


一定時間毎に、その期間の録音レベルの最大値を、デシベル表示します。

### ⑫ ローカットフィルター機能の設定状態表示

ローカットフィルターの状態を表示します。

“40Hz”、“80Hz”または“120Hz”設定時にアイコン表示します。


表示なし : ローカットフィルターオフ

 : ローカットフィルターオン

### ⑬ セルフタイマー機能の設定表示

セルフタイマー機能の状態をアイコン表示します。

表示なし : セルフタイマー機能オフ

 : セルフタイマー機能オン（2秒に設定）


 : セルフタイマー機能オン（10秒に設定）

### ⑭ レベルコントロール機能の設定状態表示

レベルコントロール機能の状態をアイコン表示します。

表示なし : オートレベルコントロール／リミッターオフ

 : オートレベルコントロールオン

 : リミッターオン

### ⑮ 経過時間表示

記録（録画／録音）中のファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。

### ⑯ 記録（録画／録音）残時間

現在の記録（録画／録音）ファイル形式で、メディアに記録（録画／録音）可能な残り時間（時：分：秒）を表示します。

### メモ

残量時間はおおよその目安であり、実際に記録（録画／録音）可能な時間とは異なります。特に、動画は被写体の状態により圧縮率が変動するため、録画されるファイルサイズが大幅に異なる場合があります。

### ⑰ F1 (⏪ / ⏩) ボタンの機能表示

F1 (⏪ / ⏩) ボタンに現在割り当てられている機能を表示します。

表示なし : 動画モードで記録（録画）待機状態では、  
F1 (⏪ / ⏩) ボタンには何も割り当てられません。

DIVIDE : 記録（録画／録音）中のファイルを分割します。  
記録（録画／録音）状態でのみ表示されます。

CAPTURE : 静止画を取り込みます。

録音ファイルと同名のJPEGファイルがキャプチャされます。

音声モードで記録（録音）待機状態でのみ表示されます。



### ⑱ ファイル情報表示

記録（録画／録音）するファイルに自動的に付けられるファイル名を表示します。

#### メモ

日本語などの多バイト文字のファイル名は、正しく表示できません。

### ⑲ F2ボタンの機能表示

F2ボタンに現在割り当てられている機能を表示します。

INPUT SETTING : "Input Setting" 画面が表示されます。  
( → 40ページ「入力の設定をする」)

### ⑳ F3/HOMEボタンの機能表示

F3/HOMEボタンに現在割り当てられている機能を表示します。

REC SETTING : "Rec Option" 画面が表示されます。

#### メモ

記録（録画／録音）待機状態の時、F3/HOMEボタンの上に "[REC SETTING]" が表示されますが、ここから "AUTO REC MODE" 項目または "AUTO REC LEVEL" 項目を変更することはできません。一度、記録（録画／録音）待機状態を解除し、"Rec Option" 画面で変更をしてください。

## 静止画モード

### 停止／再生表示（スライドショー）

撮影したフォトが自動で連続して表示されます（スライドショー）。



### ① 動作モード表示

現在の動作モードを表示します。

📷 : 静止画モード

### ② 再生ファイル画像サイズ表示

0.3M : 640×480の場合

0.9M : 1280×720の場合

### ③ 再生範囲表示

現在の再生ファイルの範囲を表示します。

ALL : microSDカード内の全ファイル

FOLDER : 選択したフォルダー内の全ファイル  
(サブフォルダー内のファイルも含みます)

P.LIST : プレイリストに登録されたファイル

## 第2章 各部の名称と働き

- ④ **再生ファイル番号／総ファイル数**  
再生対象エリアにある総ファイル数と、現在のファイル番号を表示します。

- ⑤ **電源供給の状態表示**  
電源供給の状態をアイコン表示します。停止中／再生中表示の「⑥ 電源供給の状態表示」と同じ表示です。

- ⑥ **静止画モードの動作状態表示**  
静止画モードの動作状況をアイコン表示します。  
：静止画再生中（スライドショー動作中）

- ⑦ **セルフタイマー機能の設定表示**  
セルフタイマー機能の状態を表示します。

表示なし           ：セルフタイマー機能オフ  
    ：セルフタイマー機能オン（2秒に設定）  
   ：セルフタイマー機能オン（10秒に設定）

- ⑧ **F1 (Fn / I) ボタンの機能表示**  
F1 (Fn / I) ボタンに現在割り当てられている機能を表示します。  
SELF TIMER：セルフタイマー設定を変更します。

→ OFF → 2Sec → 10Sec

- ⑨ **ファイル情報表示**  
表示中のファイルのファイル名を表示します。

**メモ**

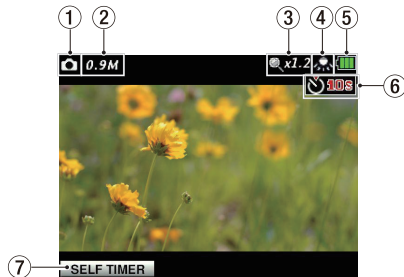
日本語などの多バイト文字のファイル名は、正しく表示できません。

- ⑩ **F2ボタンの機能表示**  
F2ボタンに現在割り当てられている機能を表示します。

DELETE：ファイルを削除する確認のポップアップメッセージ  
"--FILE DELETE--" を表示します。  
( → 74ページ「選択ファイルを削除する」)

### 撮影待機状態表示

カメラの撮影情報がディスプレイにリアルタイムに表示されます。




- ① **動作モード表示**  
現在の動作モードを表示します。

：静止画モード

- ② **撮影画像サイズ表示**  
0.3M：640×480の場合  
0.9M：1280×720の場合






### ③ デジタルズーム倍率表示

現在のデジタルズーム倍率を表示します。ただし、1倍のときには表示しません。

 x1.2 : 1.2倍デジタルズームであることを表します。

### ④ ホワイトバランスの状態表示

現在のホワイトバランスの設定状況を以下のアイコンで表示します。



表示	内容	内容
	AUTO (初期値)	撮影シーンに応じて自動的に調節する
	BLUB LIGHT	白熱電球の灯りで撮影する
	FL LIGHT	昼白色の蛍光灯の灯りで撮影する
	STAGE LIGHT	ステージなどで撮影する
	SUNLIGHT	晴天の屋外で撮影する
	CLOUDY	曇天の屋外で撮影する

### ⑤ 電源供給の状態表示

電源供給の状態をアイコン表示します。停止中／再生中表示の「⑤ 電源供給の状態表示」と同じ表示です。

### ⑥ セルフタイマー機能の設定表示

セルフタイマー機能の状態を表示します。

表示なし : セルフタイマー機能オフ  
 : セルフタイマー機能オン (2秒に設定)  
 : セルフタイマー機能オン (10秒に設定)

### ⑦ F1 (Fn / I) ボタンの機能表示

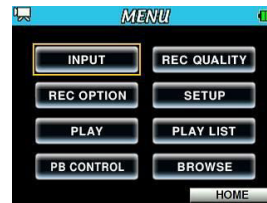
F1 (Fn / I) ボタンに現在割り当てられている機能を表示します。

SELF TIMER : セルフタイマー設定を変更します。

→ OFF → 2Sec → 10Sec

## メニューの構成

MENUボタンを押すと、「MENU」画面が表示されます。



メニュー項目は、以下の通りです。

メニュー項目	機能	参照ページ
INPUT	入力の設定をします。	→ 40ページ
REC OPTION	記録（録画／録音）の設定をします。	→ 47ページ → 49ページ → 50ページ → 51ページ
PLAY	再生範囲、リピート再生設定などをします。	→ 63ページ → 70ページ → 71ページ → 75ページ
PB CONTROL	スピードを変えて再生するなど、特殊な再生を行います。	→ 73ページ
REC QUALITY	記録（録画／録音）の品質の設定をします。	→ 38ページ

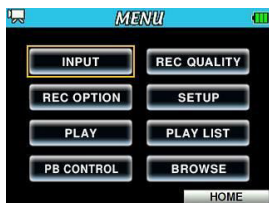
## 第2章 各部の名称と働き

メニュー項目	機能	参照ページ
SETUP	システム設定を行います。	→ 33ページ → 79ページ → 81ページ → 82ページ → 83ページ → 84ページ
PLAY LIST	プレイリストの編集を行います。	→ 62ページ → 66ページ
BROWSE	microSDカード内のファイル、フォルダー操作をします。	→ 57ページ

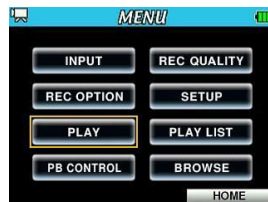
### メニューを使う

再生範囲を設定することを例に説明します。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。



2. ポインティングスティックを使ってメニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押すと各種設定画面に移動します。

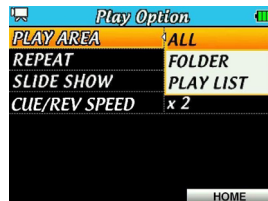


3. ポインティングスティックを上/下（▲ / ▼）に動かして、設定する項目を選択（背景橙色表示）します。

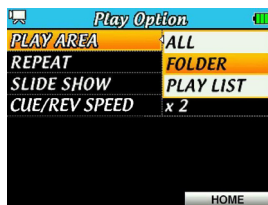


[Play Option画面選択時]

4. ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押すと、設定内容にカーソルが移動します（背景橙色表示）。



5. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして、設定を変更します。



6. 同じメニュー内で別の項目を設定する場合は、ポインティングスティックを中央で押して設定を確定します。カーソル（背景橙色表示部）が設定項目側に戻りますので、ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして設定したい項目を選択（背景橙色表示）します。
7. 必要に応じて、3.～6.を繰り返して、各項目を設定します。
8. カーソル（背景橙色表示部）が設定項目側にあるときにポインティングスティックを左（◀）に動かすかMENUボタンを押すと、“MENU”画面に戻ります。F3/HOMEボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

### メモ

- “MENU”画面表示中にMENUボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。
- “MENU”画面のカーソル（橙色枠表示）の初期位置は“INPUT”ですが、“MENU”画面を再度開いたときのカーソルの位置は、前回カーソルがあった位置となります。
- 各設定画面のカーソル（背景橙色表示）の初期位置は設定画面内の最上段の項目ですが、各設定画面を再度開いたときのカーソルの位置は、前回カーソルがあった位置となります。
- 設定画面のカーソル（背景橙色表示）の初期位置は、現在設定されている値となります。
- 項目が7行以上あるときは“◀”、“▶”が表示され、矢印方向に表示されていない行があることを示しています。

## 第2章 各部の名称と働き

### 操作の基本

各種設定画面の操作には、次の操作子を使用します。

#### MENUボタン

“MENU”画面を呼び出します。

#### 動作モードボタン

動作モードを切り換えます。

#### F3/HOMEボタン

各設定画面を表示中にこのボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。確認のポップアップメッセージに対して [NO] を選択するときを使用します。

また、ホーム画面ではF3/HOMEボタンとして使用します。

#### ポインティングスティック

“MENU”画面から各設定画面に移動するときには中央で押します。

各設定項目の選択を確定するときには中央で押します。

設定画面内のカーソル（背景橙色表示）を右に移動するときや、“BROWSE”画面でフォルダーを開くときには、右（▶）に動かします。設定画面内のカーソル（背景橙色表示）を左に移動するときや、“BROWSE”画面でフォルダーを閉じるときには、左（◀）に動かします。

また、各設定画面から“MENU”画面に戻るには、中央で押すか左（◀）に動かします。

各項目を選択（背景橙色表示）したり、値を変更するときには上／下（▲／▼）に動かします。また、ホーム画面では出力レベルを調整するとき上／下（▲／▼）に動かします（▲で音量を上げ、▼で音量を下げます）。

### F1～F3ボタン

状態によって、各種の動作が割り当てられます。

動作モード		F1	F2	F3
動画モード	停止中	I/O LOOP	DELETE	SPEED
	再生中			
	録画待機中	—	INPUT SETTING	REC SETTING
	録画中	DIVIDE	SETTING	SETTING
音声モード	停止中	I/O LOOP	DELETE	SPEED
	再生中			
	録音待機中	CAPTURE / RECAPTURE	INPUT SETTING	REC SETTING
	録音中	DIVIDE	INPUT SETTING	REC SETTING
静止画モード	停止中	SELF TIMER	DELETE	—
	再生中			
	撮影待機中	SELF TIMER	—	—
	撮影中	—	—	—
ホーム画面ポップアップ表示	I/O LOOP SETTING	IN	OUT	CLOSE
	FILE DELETE	YES	—	NO
	FORMAT	YES	—	NO
	INITIALIZE	YES	—	NO
	SPEED CONTROL	SPEED ON / SPEED OFF	—	CLOSE
	BROWSE	THUMBNAIL / FILE	PLAYLIST	HOME
その他専用画面	PLAYLIST	THUMBNAIL / FILE	BROWSE	HOME

## 電源の準備

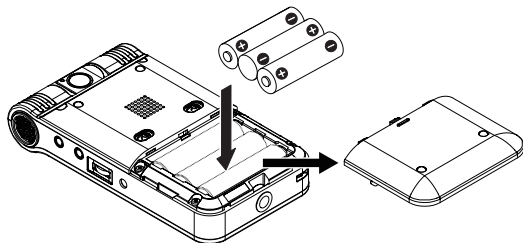
### 電源について

本機は、単3形電池3本または別売のACアダプター（TASCAM PS-P520）を使って、本機に電源を供給します。

本機は、単3形アルカリ乾電池、および単3形ニッケル水素電池も使用することができます。

### 単3形電池で使用する

本機のボトムパネルにある電池ケース蓋をスライドして取り外し、電池ケース内の⊕と⊖の表示に合わせて、単3形電池を3本セットして、電池ケース蓋を取り付けます。



単3形電池で使用する時、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量を識別するために、電池の種類を設定してください。（→ 81ページ「電池の種類の設定」）

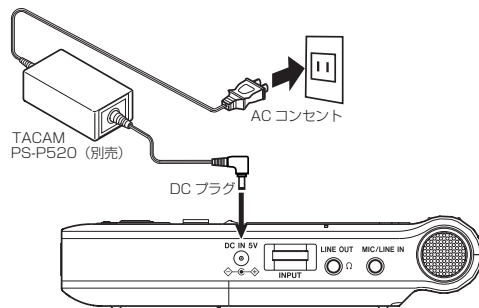
### 注意

- 単3形マンガン乾電池は、使用できません。

- 本機で単3形ニッケル水素電池を充電することはできません。市販の充電器をご使用ください。
- 付属のアルカリ乾電池は、動作確認用です。そのため寿命が短い場合があります。
- しばらくご使用にならない場合は、電池を取り外して下さい。少しずつ消費されたり、残量減少や液漏れの原因になります。

### ACアダプターで使用する（別売）

図のように、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）をDC IN 5V端子に接続します。



### 注意

必ず別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）をご使用ください。それ以外のものを使用すると故障、火災、感電の原因となります。

### メモ

電池とACアダプターの両方をセットした場合は、ACアダプターから電源が供給されます。


## 第3章 準備

### 電源をオンにする／オフにする

#### 注意

- 本機の電源のオン／オフは、本機に接続しているモニターシステムのボリュームを絞った状態で行ってください。
- 電源のオン／オフ時にヘッドホンを装着しないでください。ノイズによっては、スピーカーや聴覚を損傷する恐れがあります。

### 電源をオンにする

電源がオフ時に、F1 (  / I ) ボタンを長押しし、ディスプレイ右側のPEAKインジケーターが点灯したら離します。

その後“TASCAM DR-V1HD Startup …”が表示され、本機が起動完了後にホーム画面が表示されます。

前回の設定が自動的に読み込まれ、ファイルも最後に使用したファイルになります。



[起動画面]



[ホーム画面 ファイル有り]

ファイルが存在していない場合には、“No Movie File” (注: 動画モード時。音声モードでは “No Audio File”、静止画モード時は “No Photo File”) と表示されます。




[ホーム画面 動画ファイルなし]

#### メモ

- 初回電源投入時 (および電池がない状態でしばらく置いたため内蔵時計がリセットされたとき) には、起動画面が表示される前に、日時を設定する “Date/Time” 画面が表示されます。( → 33ページ「日時を設定する」)
- 残量がわずかな電池を入れた状態で電源をオンすると、正常に電源が入らず誤動作する場合があります。その場合は、新品もしくは十分に残量のある電池に交換してご使用ください。




## 電源をオフにする

電源オン時に、F1 (  / I ) ボタンを長押しし、“HD VIDEO LINEAR PCM RECORDER Shutdown …”と表示されたら離します。シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。



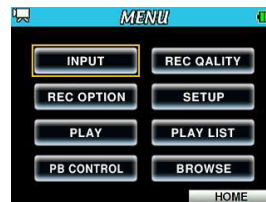
### 注意

電源をオフにするときは、必ずF1 (  / I ) ボタンで行ってください。電源がオンのときに電池を外したり、ACアダプター (TASCAM PS-P520) で使用している時に電源コードを抜いたりすると記録 (録画 / 録音 / 撮影) データや設定などが全て失われます。なお、失われたデータや設定を復活することはできません。

## 日時を設定する

本機は、本体内の時計を基に、記録 (録画 / 録音 / 撮影) したファイルに日時を記録します。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。



2. ポインティングスティックを使って“SETUP”メニュー項目を選択 (橙色枠表示) し、ポインティングスティックを中央で押して“Setup”画面を表示します。



## 第3章 準備

3. ポインティングスティックを上/下 (▲ / ▼) に動かして “DATE/TIME” 項目を選択 (背景橙色表示) し、ポインティングスティックを右 (▶) に動かすか中央で押して “Date/Time” 画面を表示します。



4. ポインティングスティックを左/右 (◀ / ▶) に動かしてカーソル (背景橙色表示部) を移動し、ポインティングスティックを上/下 (▲ / ▼) に動かして値を変更します。
5. F1 (⓪/1) “[SET]” ボタンを押すと変更を確定し、“Setup” 画面に戻ります。  
F3/HOME “[CANCEL]” ボタンを押すと、変更せずに “Setup” 画面に戻ります。
6. 設定が終了したら、F3/HOMEボタンを押してホーム画面に戻ります。

### メモ

ここで設定した日時をファイルの名前に付けることができます。(→ 82ページ「ファイル名の形式を設定する」)

### 注意

日時の設定は、電池または別売の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520) の接続がない状態では、数分しか保持しません。電池でお使いの場合は、完全に電池がなくなる前に電池交換することをお勧めします。

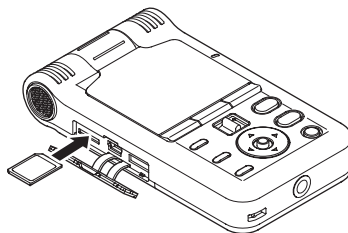
## microSDカードを挿入する/取り出す

### 挿入する

#### メモ

本機をお買い上げ時、microSDカードスロットにmicroSDカードが挿入されています。このmicroSDカードをそのまま使って記録 (録画/録音/撮影) または再生を行う場合は、改めて挿入し直す必要はありません。

1. 左サイドパネルのmicroSDカードスロットのカバーをあけます。
2. microSDカードを図の方向にカチッと音がするまで差し込みます。



## 取り出す

1. microSDカードスロットのカバーをあけます。
2. microSDカードを軽く押し込むと手前に出てきます。

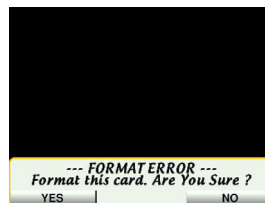
### 注意

- パソコンとUSB接続中、本機からmicroSDカードを取り外さないでください。
- 使用できるmicroSDカードは、microSD/microSDHC規格に対応したカードです。
- TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) には、当社で動作確認済みのmicroSDカードのリストが掲載されています。

## microSDカードを使えるようにする

本機でmicroSDカードを使えるようにするためには、本機でフォーマットする必要があります。

1. microSDカードが挿入されていることを確認し、電源を入れます。
2. 新しいカード、または本機以外でフォーマットされたカードを挿入したとき、以下のようなポップアップメッセージが表示されます。



3. F1(  $\phi$ /I ) “[YES]” ボタンを押すと、フォーマットを開始します。フォーマットを行わない場合は、F3/HOME “[NO]” ボタンを押してmicroSDカードを取り出してください。

### 注意

フォーマットを行うと、カード上のデータは全て失われます。

4. フォーマットが終了するとホーム画面に戻ります。また、本機では、いつでもフォーマットを行うことができます。( → 83ページ「フォーマットする」)

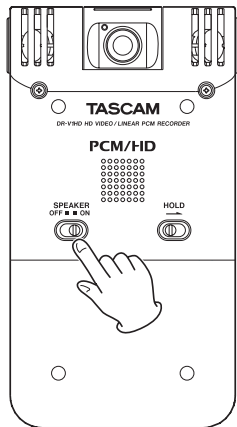
### 注意

フォーマットは、本機を別売の専用ACアダプター (TASCAM PS-P520) で使用するか、電池の残量が十分な状態で行ってください。

## 第3章 準備

### 内蔵スピーカーで再生する

本機の内蔵スピーカーで再生音を聴く場合は、ボトムパネルにあるSPEAKERスイッチをONに設定してください。



#### メモ

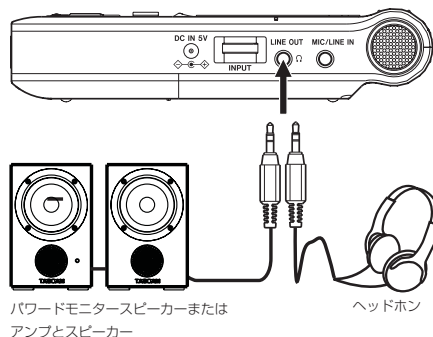
ONに設定すると内蔵スピーカーから音が出力されます。ONにした場合でも、以下の場合には音声が出力されません。

- 記録（録画／録音）待機中および記録（録画／録音）中の場合
- $\Omega$  /LINE OUT端子にヘッドホンなどが接続されている場合

### モニター用機器を接続する




ヘッドホンで聴く場合は、 $\Omega$  /LINE OUT端子にヘッドホンを接続してください。

外部モニターシステム（パワードモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー）で聴く場合は、 $\Omega$  /LINE OUT端子に外部モニターシステムを接続してください。



## 動作モードの設定

記録（録画／録音／撮影）または再生に使用する動作モードを設定します。

動作モードは、停止中に動作モードボタン（//) を押して、設定します。



### 動画モード

動画を操作（録画または再生）するときに設定する動作モード。

### 音声モード

音声を操作（録音または再生）するときに設定する動作モード。

### 静止画モード

静止画を操作（撮影または再生）するときに設定する動作モード。

### メモ

以降、選択された動作モードは記憶され、次回電源投入時にも選択された動作モードで起動します。

## 第4章 録画する／録音する

本機は、内蔵カメラを使った録画と内蔵マイクを使った録音ができます。音声の録音には内蔵マイクの他に、外部マイク、あるいは外部オーディオ機器（CDプレーヤーなど）からの信号を録音することができます。動画の録画対応形式はMOV形式ファイルのみです（動画の音声は96kHzには対応していません）。画像サイズをSD（640×480）、HD（1280×720）から選択可能です。音声の録音ファイル形式は、WAV（44.1k/48k/96kHz、16/24ビット）から設定可能です。また本機では、記録（録画）したファイルを再生しながら、再生音に入力音を上書きして新しいファイルとして記録（録画）することができます（アフターレック機能）。

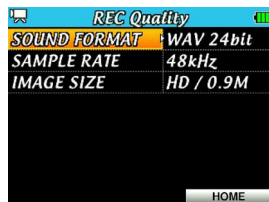
### 動作モードを設定する

記録（録画／録音）に使用する動作モードを設定します。（→ 37ページ「動作モードの設定」）  
動画を撮影するときは動画モードを、音声のみを録音するときは音声モードを選択します。

### 録音ファイル形式／サンプリング周波数／ 録画画像サイズを設定する

記録（録画／録音）を実行する前に、記録（録画／録音）するファイル形式を設定します。

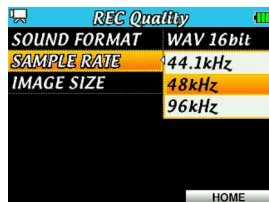
1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“REC QUALITY”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを押して“REC Quality”画面を表示します。



3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“SOUND FORMAT”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。ここで録音するファイル形式を設定します。  
ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして、以下の中から設定します。

選択肢：“WAV 16bit”（初期値）、“WAV 24bit”

4. ポインティングスティックを中央で押して、設定を確定します。カーソル（背景橙色表示部）が設定項目側に戻ります。
5. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“SAMPLE RATE”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。



ここでサンプリング周波数を選択します。

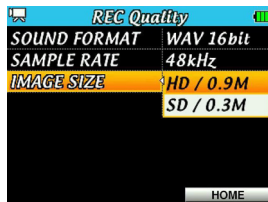
ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして、以下の中から設定します。

選択肢：“44.1kHz”（初期値）、“48kHz”、“96kHz”

### 注意

動画モードでは、“96kHz”の設定で録画できません。このとき、ポップアップメッセージ“**Unsupported Sampling Rate!!**”が表示されます。

6. ポインティングスティックを中央で押して、設定を確定します。カーソル（背景橙色表示部）が設定項目側に戻ります。
7. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“**IMAGE SIZE**”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。



ここで録画画像サイズを設定します。

ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして、以下の中から設定します。

選択肢：“HD / 0.9M”（初期値）、“SD / 0.3M”

8. ポインティングスティックを中央で押して、設定を確定します。カーソル（背景橙色表示部）が設定項目側に戻ります。

9. ポインティングスティックを中央で押して、設定を確定します。カーソル（背景橙色表示部）が設定項目側に戻ります。

10. 設定が終了したら、F3/HOMEボタンを押してホーム画面に戻ります。

### 記録可能時間表示

microSDカードの容量や録音するファイル形式、サンプリング周波数の設定や録画画像サイズに応じて、記録（録画／録音）時間が異なります。記録可能時間は、microSDカード残量の目安を表示しています。（→ 54ページ「記録時間について」）



### ファイルの保存先を設定する

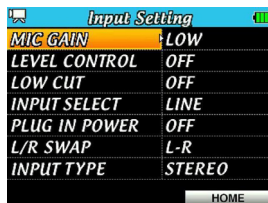
記録（録画／録音）したファイルを保存するフォルダーを選択します。記録（録画／録音）ファイルは、カレントフォルダーに指定したフォルダーに保存されますので、“**BROWSE**”画面でカレントフォルダーを指定します。（→ 61ページ「フォルダー操作」）

カレントフォルダーの初期値は《MY\_FOLDER》です。カレントフォルダーを変更する操作を行っていない場合は、《MY\_FOLDER》に記録されます。

## 第4章 録画する／録音する

### 入力の設定をする

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“INPUT”メニュー項目を選択(橙色枠表示)し、ポインティングスティックを中央で押して“Input Setting”画面を表示します。



この画面には、以下の設定項目があります。

ポインティングスティックを使って、各項目の設定を行います。

#### MIC GAIN :

マイクの入力感度(“LOW”(初期値)、“MID”、“HIGH”)を設定します。入力レベルが低いときには、“MID”もしくは“HIGH”に設定します。

#### LEVEL CONTROL :

マイク入力時の録音レベルコントロール機能を設定します。初期値は“OFF”です。

“AUTO”(オートゲインコントロール)に設定すると、入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように録音レベルを自動で調節するため、会議録音などに適しています。このモードでは手動で録音レベルを変更することはできません。

“LIMITER”(リミッター)に設定すると、突発的な過大入力によ

る歪みを防ぐ機能です。音量変化が激しいライブ録音などに適しています。このモードでは、録音中でも手動で録音レベルを変更することができます。

#### LOW CUT :

マイク入力時のローカットフィルターを設定します。カットオフ周波数は“40Hz”、“80Hz”または“120Hz”から選択できます。初期値は“OFF”です。

#### INPUT SELECT :

入力ソースをマイク(“MIC”)にするかライン(“LINE”)にするかを設定します。初期値は“MIC”です。

“MIC”に設定した場合は、MIC/LINE IN端子(ステレオミニジャック)にマイクを接続していないときは内蔵マイク、接続しているときはMIC/LINE IN端子に入力されるマイクの信号が入力ソースになります。

“LINE”に設定した場合は、MIC/LINE IN端子(ステレオミニジャック)に入力されるライン入力信号が入力ソースになります。

MIC/LINE IN端子(ステレオミニジャック)にマイクを接続していないときは内蔵マイクが入力ソースになります。

“PLUG IN POWER”項目の設定を自動的に無効となります。

#### PLUG IN POWER :

プラグインパワーを必要とするマイクを接続したとき、“ON”に設定します。初期値は“OFF”です。

内蔵マイクを使用する場合は、“OFF”に設定してください。

“INPUT SELECT”項目の設定によって、“PLUG IN POWER”項目の“ON”／“OFF”表示は変化することはありません。

“INPUT SELECT”項目の設定が“LINE”選択時は、“PLUG IN POWER”項目の設定に関わらず無効となります。また、“MIC”選択時は“PLUG IN POWER”項目の設定が有効になります。



### L/R SWAP :

内蔵マイクの左 (Lch) と右 (Rch) を反転するとき **“R-L”** にします。初期値は **“L-R”** です。

### INPUT TYPE :

使用するマイクに応じて、ステレオ (**“STEREO”** (初期値)) またはモノラル (**“MONO”**) を設定します。**“MONO”** に設定すると、L/R両チャンネルに同じ信号が供給されます。

### メモ

記録 (録画／録音) 待機中にF2 **“[INPUT SETTING]”** ボタンを押すことでも、**“Input Setting”** 画面を表示します。

### 注意

- 入力音が大きすぎるとリミッターをオンにしても歪んでしまう場合があります。そのときは手で録音レベルを下げるか、音源から本体を離してください。
- ダイナミックマイクや電池内蔵のマイクを接続するときは、**“PLUG IN POWER”** 項目の設定を **“OFF”** に設定してください。**“ON”** にするとマイクの故障の原因になる恐れがあります。
- マイクを使って録音を行うときは、モニターシステムにヘッドホンを使って行ってください。スピーカーを使ってモニターすると、スピーカーの出力音が入力されて、正常な音で録音できなかったり、ハウリング (フィードバック) を起こす可能性があります。

### ヒント

- 空調機の音や屋外の録音などで風の音が入る場合は、**“LOW CUT”** 項目を **“OFF”** 以外の設定にすると改善できることがあります。
- ライブなどで不意に大きな音が入力されてしまうようなときに **“LEVEL CONTROL”** 項目を **“LIMITER”** にすると、過大入力を防いで歪みのない録音ができます。

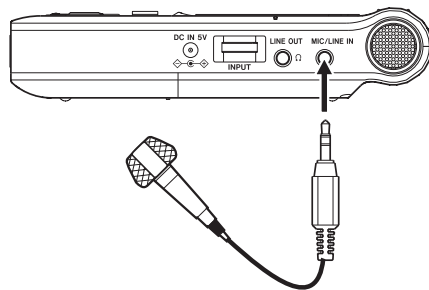
## 設置または接続をする

### 内蔵マイクで録音する

レンズを被写体の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。

### 外部マイクで録音する (MIC IN)

外部マイクを本機のMIC/LINE IN端子に接続します。レンズを被写体に、マイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所にそれぞれ設置してください。



### メモ

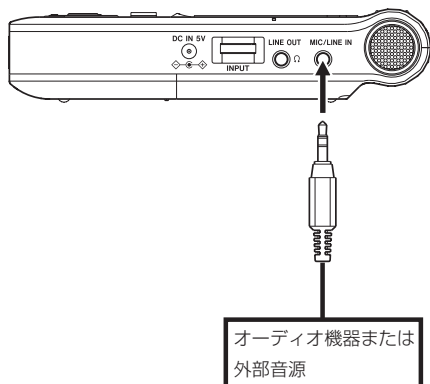
対応マイク

- ダイナミックマイク
- 電池内蔵のマイク
- プラグインパワー対応エレクトレットコンデンサーマイク

## 第4章 録画する／録音する


### 外部機器から録音する (LINE IN)

ステレオミニプラグケーブルを使用して、外部オーディオ機器の出力と接続します。



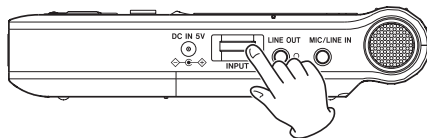
### 入力レベルを調節する

入力のレベルを調節します。

1. RECORDボタンを押して、記録（録画／録音）待機状態にします。記録（録画／録音）画面が表示されます。このときのレコーダー動作状態表示は「」となります。



2. 右サイドパネルのINPUTボリュームを使って、入力レベルを調節します。



録音する音のレベルが歪む直前になると、ディスプレイの右にある**PEAK**インジケーターが赤く点灯します。**PEAK**インジケーターが赤く点灯する手前ぐらいに録音レベルを設定してください。入力ソース（“Input Setting”画面の“INPUT SELECT”項目）をマイク（“MIC”）に設定し、内蔵マイクまたは外部マイクを使っているときに、入力レベル設定を最大にしても録音レベルが低い場合は、

“Input Setting”画面の“MIC GAIN”項目をより高い設定にしてください。(→40ページ「入力の設定をする」)

### 注意

- マイクを使って録音を行う場合は、以下の点にご注意ください。  
“Input Setting”画面の“MIC GAIN”項目の設定を“MID”や“HIGH”にすると、PEAKインジケーターが点灯していないにもかかわらず、歪んだ音が録音されてしまう場合があります。  
入力レベルを調節する際は、まず“Input Setting”画面の“MIC GAIN”項目の設定を“LOW”にし、INPUTボリュームで調節してください。  
入力レベル設定を最大にしても適切な入力レベルにならない場合は、次に“MIC GAIN”項目の設定を“MID”にしてください。  
それでもまだ適切な入力レベルが得られない場合は、“MIC GAIN”項目の設定を“HIGH”にしてください。
- 入力音が大きすぎるとリミッターをオンにしても歪んでしまう場合があります。そのときは手で録音レベルを下げるか、音源から本体を離してください。

### メモ

- 記録(録画／録音)待機状態を解除するには、STOP/PAUSEボタンを押します。
- 入力ソース(“Input Setting”画面の“INPUT SELECT”項目)をライン(“LINE”)に設定したときは、“GAIN”項目の設定は無効です。
- 記録(録画／録音)待機時や記録(録画／録音)中は、SPEAKERスイッチがONの場合でもスピーカーから音は出ません。モニター音を聞きながら入力レベル調節や録音を行う場合は、ヘッドホンを実機に接続してください。モニター音は、ホーム画面表示中にポインティングスティックを上／下(▲／▼)に動かして調節できます。録音される音には、影響ありません。

### ヒント

- INPUTボリュームの調節だけでなく、マイクと音源との距離や向きを調節してみてください。また、マイクの向きや音源との距離によって音質が変わります。
- 大きな音が入力されても歪んで録音されないようにオートゲインコントロール機能やリミッター機能を利用することができます。(→40ページ「入力の設定をする」)

## 第4章 録画する／録音する

### 記録（録画／録音）する

以下の操作手順は、すでに入力ソースが設定され、入力レベル調節を行い、ホーム画面が表示されていることを前提としています。

1. **RECORD**ボタンを押して、記録（録画／録音）待機状態にします。  
記録（録画／録音）画面には、動作モード、記録ファイル形式およびサンプリング周波数、画像サイズ、倍率など各種情報が表示されますので、記録（録画／録音）を開始する前に確認することができます。

#### ヒント

音声モードのときは録音待機状態で静止画を撮影（キャプチャ）して、録音または再生時の背景画像にすることができます。（→51ページ「音声ファイルの背景用画像を撮影する」）

動画を撮影するときは、デジタルズームの倍率を変更します。（→45ページ「カメラの倍率を調節する」）

2. 再び、**RECORD**ボタンを押します。通常の記録（録画／録音）が始まります。  
記録（録画／録音）が始まると**REC**インジケータが点灯し、ディスプレイには記録（録画／録音）経過時間および記録（録画／録音）残時間、動画モード時には現在の録画面像が表示されます。  
音声モード時にキャプチャした画像がある場合はキャプチャ画像を、キャプチャ画像が無い場合は以下のような画像が表示されます。



#### ヒント

動画記録中にもデジタルズームの倍率を変えることができます。（→45ページ「カメラの倍率を調節する」）

3. 記録（録画／録音）を終了するには、**STOP/PAUSE**ボタンを押します。  
記録（録画／録音）を一時停止するには、**RECORD**ボタンを押します。再度、**RECORD**ボタンを押すと、同じファイルに続きが記録されます。  
一時停止後に**STOP/PAUSE**ボタンを押すと、一時停止するまで記録した動画または音声ファイルが作成されます。

### カメラの倍率を調節する

本機には、デジタルズームがついています。倍率を上げて被写体をより大きくして撮影することができます。

デジタルズームの倍率は、記録（録画／録音）待機状態または記録（録画／録音）中に、ホーム画面の右上にデジタルズーム倍率表示として表示されます。

x1.0～x4.0（0.1倍単位）まで倍率を変えることができます。

倍率を変えるには、記録（録画／録音）待機中または記録（録画／録音）中にズームレバーをW [◀◀] 側またはT [▶▶] 側に押しします。

#### W [◀◀]

ズームレバーを記録（録画）待機中または記録（録画）中にW [◀◀] 側に押すと、撮影範囲が広く（W：ワイド）なります。デジタルズームの倍率が下がります。

#### T [▶▶]

ズームレバーを記録（録画）待機中または記録（録画）中にT [▶▶] 側に押すと、撮影範囲が狭く（T：テレ）なります。デジタルズームの倍率が上がります。

### 入力音を上書きして記録する（アフターレック）

記録（録画）したファイルを再生しながら、再生音に入力音を上書きして新しいファイルとして記録（録画）することができます（アフターレック）。

#### メモ

- 動画モードのみ、アフターレックを行うことができます。
- アフターレックを行うときには、オートレック機能や手動でファイルを更新する機能は使用できません。
- アフターレック中は、**SPEAKER**スイッチが**ON**の場合でもスピーカーから音は出ません。
- アフターレック中は、一時停止はできません（**RECORD**ボタン操作を受け付けません）。
- アフターレックは、サンプリング周波数の設定にかかわらず、再生ファイルのサンプリング周波数となります。

### 上書きするファイルを選択する

ポインティングスティックを左／右（◀ / ▶）に動かす、もしくは“**BROWSE**”画面で、音を重ねたいファイルを選択します。

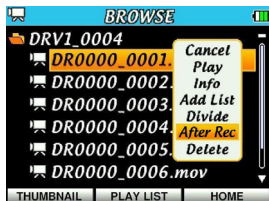
#### メモ

“**BROWSE**”画面を使つてのファイルの選択は、57ページ「第6章 ファイルやフォルダーの操作（**BROWSE**画面）」を参照してください。

## 第4章 録画する／録音する

### アフターレックを実行する

1. “BROWSE”画面からアフターレックを実行するファイルを選択します。
2. ポインティングスティックを中央で押してポップアップメニューを表示し、“After Rec”を選択します。



3. 再び、ポインティングスティックを押して、記録（録画／録音）待機状態にします。
4. RECORDボタンを押すと、アフターレックが始まります。記録（録画／録音）が始まるとRECインジケータが点灯し、ホーム画面には記録（録画／録音）経過時間および記録（録画／録音）残時間や再生されているファイル名が表示されます。

#### メモ

入力モニター音は、実際の音に比べ少し遅れて聴こえます。

5. 選択したファイルのアフターレックの実行が終了すると、停止状態になります（アフターレック実行によって作成されたファイルを再生するには、ブラウズから選択する必要があります）。

#### 注意

動作モードが動画モードになっていないときは、ポップアップメニューに“After Rec”は表示されません。

### ファイルインクリメント

記録（録画／録音）中に手動で、または最大ファイルサイズ（2GB）になったときに自動的に現在のファイルへの記録（録画／録音）を停止し、新しいファイルに記録（録画／録音）を継続することができます。

#### メモ

オートレック機能が“FILE INC”に設定されているときに、記録（録画／録音）が再開される場合にも新しいファイルに記録（録画／録音）します。（→47ページ「記録機能を自動で動作させる（AUTO REC）」）

### 記録中に手動でファイルインクリメントする

記録（録画／録音）中にF1(φ/I) “[DIVIDE]” ボタンを押すと、いつでも簡単に手動でファイルを更新し、記録（録画／録音）を継続することができます。

#### メモ

新しいファイルが作成されると、ファイル名の末尾の数字が繰り上がります。

#### 注意

- フォルダとファイルの総数が9999個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。
- 記録（録画／録音）時間が2秒以内のファイルを作成することはできません。
- 新たに作成するファイルのファイル名が既に存在する場合には、更にその数字が繰り上がります。
- 手動インクリメントを実行するとファイル処理に時間がかかるために次のファイルが記録開始されるまでに1秒程度、音と絵が途切れま

す。途切れることなくファイルを分割したい場合には、連続してファイルを作成後にファイル分割機能（→ 52ページ「ファイルを分割する（DIVIDE）」）を使用してください。

### ファイルサイズで自動的にファイルインクリメントする

記録（録画／録音）中に、最大ファイルサイズに達すると、自動的に現在のファイルへの記録（録画／録音）を停止し、新しいファイルに記録（録画／録音）を継続します。

#### 注意

- フォルダーとファイルの総数が9999個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。このときポップアップメッセージ“File Full”が表示され、記録は停止します。
- 自動的にファイルがインクリメントされた時にはファイル処理に時間がかかるために次のファイルが記録開始されるまでに1秒程度、音と絵が途切れます。

#### メモ

ファイル形式によっては、同じ最大ファイルサイズにおける記録（録画／録音）時間が異なります。また、記録（録画／録音）時間が24時間以上の場合は、23時間59分59秒として表示されます。

### 記録機能を自動で動作させる（AUTO REC）

入力音のレベルに応じて、記録（録画／録音）の開始／一時停止とファイルの更新を自動で行う機能です。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“REC OPTION”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“REC Option”画面を表示します。

Rec Option	
SELF TIMER	10 sec
PRE REC	OFF
AUTO REC MODE	OFF
AUTO REC LEVEL	-12dB
WHITE BALANCE	AUTO

3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“**AUTO REC MODE**”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。

Rec Option	
SELF TIMER	10 sec
PRE REC	OFF
<b>AUTO REC MODE</b>	<b>OFF</b>
AUTO REC LEVEL	PAUSE
WHITE BALANCE	FILE INC

## 第4章 録画する／録音する

4. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして、オートレック機能のモードを設定します。

選択肢	内容
OFF (初期値)	自動で記録（録画／録音）を開始／一時停止しません。
PAUSE	設定された基準レベルを上回ったときに自動で記録（録画／録音）を開始し、基準レベルを下回った状態が5秒続いたときに一時停止します。再度基準レベルを上回ったときに、同じファイルに続けて記録（録画／録音）します。
FILE INC	設定された基準レベルを上回ったときに自動で記録（録画／録音）を開始し、基準レベルを下回った状態が5秒続いたときに一時停止します。再度基準レベルを上回ったときに、新しいファイルで記録（録画／録音）を再開します。

5. ポインティングスティックを中央で押して、設定を確定します。カーソル（背景橙色表示部）が設定項目側に戻ります。
6. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“**AUTO REC LEVEL**”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。

Rec Option	
SELF TIMER	10 sec
PRE REC	OFF
AUTO REC MODE	OFF
AUTO REC LEVEL	-48dB
WHITE BALANCE	-24dB
	-12dB
	-6dB
	HOME

7. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして信号が入力されたと判断する基準レベルを設定し、ポインティングスティックを中央で押して決定します。

選択肢；“-6dB”、“-12dB”（初期値）、“-24dB”、“-48dB”

8. 設定が終了したら、F3/HOMEボタンを押して、ホーム画面に戻ります。
9. RECORDボタンを押し、記録（録画／録音）待機状態にします。入力音が“**AUTO REC LEVEL**”項目で設定した基準レベルを上回ると自動で記録（録画／録音）を開始します。入力音が“**AUTO REC LEVEL**”項目で設定した基準レベルを5秒以上下回ると、自動で一時停止します。入力音が再び“**AUTO REC LEVEL**”項目で設定した基準レベルを上回ると記録（録画／録音）を再開します。このとき、“**AUTO REC MODE**”項目の設定が“**PAUSE**”であれば同じファイルに続けて記録（録画／録音）し、“**FILE INC**”であれば新しいファイルとして記録（録画／録音）します。
10. 記録（録画／録音）を停止させる場合は、STOP/PAUSEボタンを押してください。

### メモ

記録（録画／録音）待機状態の時、F3/HOMEボタンの上に“**[REC SETTING]**”が表示されますが、ここから“**AUTO REC MODE**”項目または“**AUTO REC LEVEL**”項目を変更することはできません。一度、記録（録画／録音）待機状態を解除し、“**Rec Option**”画面で変更をしてください。



### 記録開始の少し前から記録する (PRE REC)

記録（録画／録音）待機中に入力される信号を最大2秒間記録（録画／録音）しておき、記録（録画／録音）開始時に最大2秒前からの信号を記録（録画／録音）することができます。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“REC OPTION”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“REC Option”画面を表示します。
3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“PRE REC”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。



4. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして、“ON”に設定します。（初期値：“OFF”）

5. 設定が終了したら、F3/HOMEボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

#### ヒント

オートレック機能と組み合わせることにより、出音の部分を欠かすことなく記録（録画／録音）できます。

#### メモ

記録（録画／録音）待機状態になってから2秒以内に記録（録画／録音）を開始した場合は、記録（録画／録音）待機状態にした時点からの記録（録画／録音）となります。

## 第4章 録画する／録音する

### ホワイトバランスを設定する

撮影シーンに応じたホワイトバランス（色合い）を設定します。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“REC OPTION”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“REC Option”画面を表示します。
3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“WHITE BALANCE”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。



4. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして、以下アイコン表示の中から設定します。

表示	選択肢	内容
	AUTO（初期値）	撮影シーンに応じて自動的に調節する
	BLUB LIGHT	白熱電球の灯りで撮影する
	FL LIGHT	昼白色の蛍光灯の灯りで撮影する
	STAGE LIGHT	ステージなどで撮影する
	SUNLIGHT	晴天の屋外で撮影する
	CLOUDY	曇天の屋外で撮影する

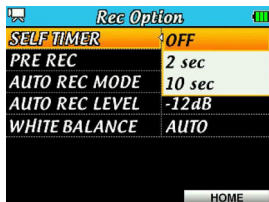
選択しているホワイトバランスを意味するアイコンが画面上部に表示されます。

5. 設定が終了したら、F3/HOMEボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

### 開始を遅らせて記録する（セルフタイマー）

記録（録画／録音）開始時、RECORDボタンが押されてから設定した時間がたってから記録（録画／録音）が開始されます。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“REC OPTION”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“REC Option”画面を表示します。
3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“SELF TIMER”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。



4. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かしてセルフタイマーを設定し、ポインティングスティックを中央で押して決定します。

選択肢：“OFF”（初期値）、“2 sec”、“10 sec”

5. 設定が終了したら、F3/HOMEボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

### 音声ファイルの背景用画像を撮影する

現在の動作モードが音声モードのときには、録音待機時に静止画を撮影（キャプチャ）して録音／再生のときに背景として使用することができます。

1. RECORDボタンを押して、録音待機状態にします。



2. 撮影したい構図を決めます。
3. F1(φ/I) “[CAPTURE]” ボタンを押して、静止画を撮影（キャプチャ）します。  
キャプチャされた画像は、次に録音する音声ファイル名と同名のJPEGファイルで作成されます。
4. ホーム画面の背景がキャプチャされた画像になります。
5. 再度、F1(φ/I) “[RECAPTURE]” ボタンを押すことで、画像を取り直す（リキャプチャ）ことができます。前に撮った画像は上書きされます。

#### メモ

“BROWSE”画面をサムネイル表示モードにしたときのサムネイルとしてもこの画像は使われます。

## 第4章 録画する／録音する

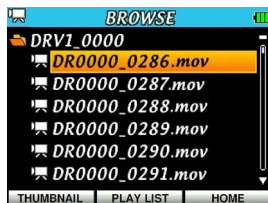
### ファイルを分割する (DIVIDE)

記録（録画／録音）したファイルを任意の位置で、2つのファイルに分割することができます。

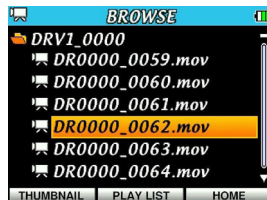
#### メモ

分割するファイルと同容量以上の空き容量がSDカードに必要です。容量が不足している場合は、ポップアップメッセージ“**Out of Card Space**”が表示されます。その場合は、他のメディアに移動もしくは不要なファイルを削除して空き容量を増やしてください。

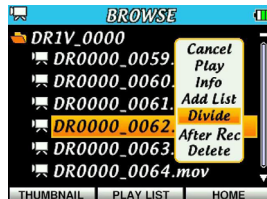
1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックで“BROWSE”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“BROWSE”画面を表示します。




3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして分割したいファイルを選択します。



4. ポインティングスティックを中央で押してポップアップメニューを表示し、上／下（▲／▼）に動かして“Divide”項目を選択（背景橙色表示）します。



5. ポインティングスティックを中央で押して、分割 (DIVIDE) モードが起動します。ホーム画面に“”アイコンが表示され、選択したファイルを再生します。



F1(  $\phi$ /I) “[DIVIDE]” ボタンまたはF3/HOME “[CANCEL]” ボタンを押すまで選択したファイルを繰り返し再生します。

6. 分割したい位置でF1(  $\phi$ /I) “[DIVIDE]” ボタンを押して、以下のポップアップメッセージを表示します。



7. F1(  $\phi$ /I) “[YES]” ボタンを押すと、ファイルが分割されます。ファイルを分割後  $\phi$  アイコンが消えて、ホーム画面に戻ります。F3/HOME “[NO]” ボタンを押すと、分割されずにホーム画面に戻ります。

### メモ

- 分割 (DIVIDE) モードでは、ズームレバー (W [◀◀] 側またはT [▶▶] 側)、PLAYボタン、STOP/PAUSEボタンが使えます。これらのボタンを使うことでより早く分割したい位置を探すことができます。
- 分割すると、ファイル名の末尾に “\_a” または “\_b” が付加されたファイルが作成されます。分割しても元ファイルは維持されます。

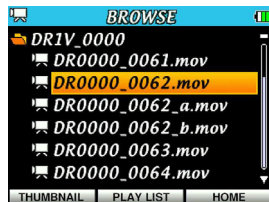
(例) 分割前のファイル名

DR0000\_0062.mov

分割後のファイル名

DR0000\_0062\_a.mov (分割点より前の部分)

DR0000\_0062\_b.mov (分割点より後の部分)



### 注意

- 分割 (DIVIDE) 対象ファイルと同サイズ以上のカード残量が必要です。
- ファイル名が200文字以上になる場合は、分割できません。
- 分割後のファイル名と同名のファイルが存在する場合は、分割できません。

## 第4章 録画する／録音する

### 記録時間について

各ファイル形式における、microSD / microSDHCカード容量別の記録（録画／録音）時間を以下の表に示します。

動作モード	ファイル形式（記録時の設定）	microSD / microSDHCカード容量					
		2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	
動画モード	SD-VGA 16ビット（STEREO）	44.1kHz	1時間01分	2時間00分	4時間01分	8時間03分	16時間07分
		48kHz	58分	1時間57分	3時間55分	7時間50分	15時間40分
	SD-VGA 24ビット（STEREO）	44.1kHz	52分	1時間44分	3時間28分	6時間56分	13時間53分
		48kHz	50分	1時間40分	3時間21分	6時間42分	13時間24分
	HD-720p 16ビット（STEREO）	44.1kHz	28分	56分	1時間53分	3時間46分	7時間33分
		48kHz	28分	55分	1時間51分	3時間43分	7時間27分
	HD-720p 24ビット（STEREO）	44.1kHz	26分	52分	1時間45分	3時間30分	7時間01分
		48kHz	25分	51分	1時間43分	3時間27分	6時間54分
音声モード	WAV16ビット（STEREO）	44.1kHz	3時間09分	6時間13分	12時間35分	25時間11分	50時間23分
		48kHz	2時間53分	5時間47分	11時間34分	23時間08分	46時間17分
		96kHz	1時間26分	2時間53分	5時間47分	11時間34分	23時間08分
	WAV24ビット（STEREO）	44.1kHz	2時間06分	4時間12分	8時間23分	16時間47分	33時間35分
		48kHz	1時間55分	3時間51分	7時間43分	15時間25分	30時間51分
		96kHz	57分	1時間55分	3時間51分	7時間43分	15時間25分

- 上記の記録（録画／録音）時間は目安です。ご使用のmicroSD / microSDHCカードにより異なる場合があります。
- 上記の記録（録画／録音）時間は連続記録（録画／録音）時間ではなく、microSD / microSDHCカードに可能な記録（録画／録音）合計時間です。

## 第5章 静止画を撮影する（キャプチャ）

本機は、内蔵カメラを使った動画の録画と内蔵マイクを使った録音の他に、静止画を撮影することができます。

静止画のファイル形式は、JPEGファイルのみです。画像サイズを0.9M（1280×720）、0.3M（640×480）から選択が可能です。

### 動作モードを設定する

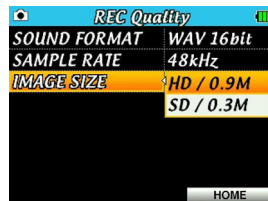
キャプチャに使用する動作モードを設定します。（→ 37ページ「動作モードの設定」）

静止画を撮影するときは、静止画モードを選択します。

### 画像サイズの設定

静止画を撮影する前に、画像サイズを設定します。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“REC QUALITY”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“REC Quality”画面を表示します。
3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“IMAGE SIZE”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。



4. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして、撮影する画像サイズを設定します。

選択肢：“HD/0.9M”（初期値）、“SD/0.3M”

5. 設定が終了したら、F3/HOMEボタンを押してホーム画面に戻ります。

### ファイルの保存先を設定する

記録（撮影）したファイルを保存するフォルダーを選択します。記録（撮影）ファイルは、カレントフォルダーに指定したフォルダーに保存されますので、“BROWSE”画面でカレントフォルダーを指定します。（→ 61ページ「フォルダー操作」）

カレントフォルダーの初期値は、《MY\_FOLDER》です。カレントフォルダーを変更する操作を行っていない場合は、《MY\_FOLDER》に記録されます。

指定できるフォルダーは、第1階層までです。

## 第5章 静止画を撮影する（キャプチャ）

### カメラの倍率を調節する（静止画モード時）

本機には、デジタルズームがついています。倍率を上げて被写体をより大きくして撮影することができます。

デジタルズームの倍率は、ホーム画面の右上にデジタルズーム倍率表示として表示されます。

x1.0 ~ x4.0（0.1倍単位）まで倍率を変えることができます。

倍率を変えるには、ズームレバーをW [◀◀] 側またはT [▶▶] 側に押しします。

#### W [◀◀]

撮影待機中にズームレバーをW [◀◀] 側に押しすと、撮影範囲が広く（W：ワイド）なります。デジタルズームの倍率が下がります。

#### T [▶▶]

撮影待機中にズームレバーをT [▶▶] 側に押しすと、撮影範囲が狭く（T：テレ）なります。デジタルズームの倍率が上がります。

### セルフタイマーを使う（静止画モード時）

RECORDボタンを押した後、設定した時間を経過すると静止画を撮影する機能です。銀塩カメラやデジタルカメラのセルフタイマーと同様の使い方ができます。

ホーム画面表示中にF1 (⊙/1) “[SELF TIMER]” ボタンを押すと、セルフタイマーの設定が変化します。



### メモ

“Rec Option” 画面の “SELF TIMER” 項目でも、セルフタイマーを設定することができます。

### 静止画を撮影する

以下の操作手順は、すでに入力ソースの設定や各種設定を行い、ホーム画面が表示されていることを前提にしています。

1. RECORDボタンまたはSTOP/PAUSEボタンを押して、撮影待機状態にします。  
カメラの撮影情報がディスプレイにリアルタイムで表示されます。静止画モード表示のほか、画像サイズ、デジタルズーム倍率（1倍のときは表示しません）、ホワイトバランスモード、電源供給の状態が表示されます。また、このとき、ズームレバーでデジタルズームができます。
2. RECORDボタンを押して、静止画を撮影します。  
撮影直後の2秒間は、撮影された静止画のみが表示され、他の情報は表示されません。
3. STOP/PAUSEボタンを押すと、撮影待機状態ではなくなります。



## 第6章 ファイルやフォルダーの操作（BROWSE画面）

“BROWSE”画面では、microSDカード上の《MY\_FOLDER》フォルダー（動画ファイル、音声ファイル、画像ファイルの収納フォルダー）の内容を見ることができます。また、この画面で選択した各種ファイルの再生や削除、フォルダーの作成やプレイリストへの登録などができます。（→66ページ「プレイリスト」）

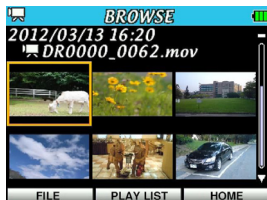
### ヒント

本機とパソコンをUSB接続するか、あるいはmicroSDカードを直接パソコンにセットすることにより、パソコンからも“MY\_FOLDER”フォルダー内のフォルダー構成の変更やファイルの削除ができます。さらにパソコンからはファイル名の編集が可能です。

### メモ

日本語などの多バイト文字のファイル名やフォルダー名は、正しく表示できません。

“BROWSE”画面を表示するには、MENUボタンを押して“MENU”画面を表示し、ポインティングスティックを使って“BROWSE”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“BROWSE”画面を表示します。



[ “BROWSE”画面サムネイル表示モード ]

### メモ

停止中、一時停止中および再生中にPLAYボタンを長押しすると、“BROWSE”画面もしくは“PLAY LIST”画面の最後に表示した画面を表示します。

この画面には、“BROWSE”画面を表示する前にホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダーの内容が表示され、カーソル（橙色枠表示）の初期位置はそのファイルとなります。

## 動作モードを設定する

ファイルの操作は、現在の動作モードにあったファイルしか操作できません。このため、ファイルやフォルダーの操作を実行する前に、動作モードを選択します。

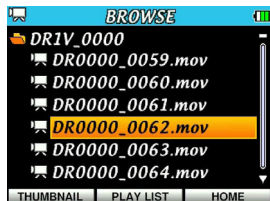
操作したいファイルにあった動作モードを設定します。（→37ページ「動作モードの設定」）

## 第6章 ファイルやフォルダーの操作 (BROWSE画面)

### BROWSE画面内のナビゲーション

“BROWSE”画面には、各ファイルの画像を表示するサムネイル表示モードと、パソコンにおけるファイルのリスト表示のように、フォルダーや記録（動画／音声／静止画）ファイルをフォルダーごとに一覧で表示するリスト表示モードがあります。

F1 (☺/!) [“THUMBNAIL”] ボタンを押すと、表示モードを切り換えることができます。切り換えた表示モードは保持され、次回“BROWSE”画面を開いたときには前回の表示モードで表示されます。フォルダーは、第1階層まで作成できます。



[ “BROWSE”画面リスト表示モード ]

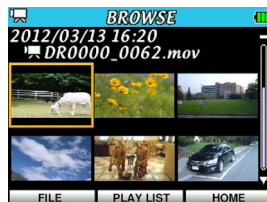
- ポインティングスティックを上／下 (▲ / ▼) に動かして、ファイルやフォルダーを選択（反転表示）します。
- フォルダーが反転表示中にポインティングスティックを右 (▶) に動かすと、フォルダーの内容が表示されます。
- ファイルやフォルダーが反転表示中にポインティングスティックを左 (◀) に動かすと、現在開いているフォルダーが閉じて、上位の階層レベルが表示されます。
- フォルダーやファイルが反転表示中にポインティングスティックを中央で押すと、ポップアップメニューが表示されます。

### BROWSE画面内の表示内容

各表示モードでの表示内容を説明します。

#### サムネイル表示モード

サムネイル表示モードの場合は、以下の内容が表示されます。



#### 動作モード表示

現在の動作モードを左上にアイコン表示します。

#### 記録開始時刻表示

現在選択されているファイル（橙色枠表示）の記録（動画／音声／静止画）開始時刻を表示します。「yyyy/mm/dd hh:mm」の形式で表示します。

#### ファイル名表示

現在選択されているファイル（橙色枠表示）のファイル名を表示します。また、先頭にファイルの種類を表すアイコンが表示されます。

#### ファイルサムネイル表示

ファイルのサムネイルを表示します。

#### 動画モード時

拡張子が“.mov”で再生可能な動画ファイルのみ表示します。

## 第6章 ファイルやフォルダーの操作 (BROWSE画面)

開始から30秒の位置の静止画が表示されます。長さが30秒以下のファイルの場合は、ファイルの終わりの静止画となります。横幅をそろえるため、HD画像の場合は上下に黒帯のついた横長の画像になります。

### 音声モード時

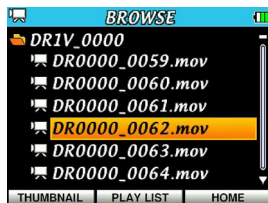
拡張子が“.wav”の音声ファイルのみ表示します。録音前に“CAPTURE”を行った場合など、同じ名前の“.jpg”ファイルがあるときはその画像を表示し、ない場合には“📷”アイコンを表示します。

### 静止画モード時

拡張子が“.jpg”の静止画ファイルのみ表示します。

## リスト表示モード

リスト表示モードの場合は、アイコンとファイルやフォルダーの名前が表示されます。



### 動作モード表示

現在の動作モードを左上にアイコン表示します。

### フォルダー名表示

現在表示しているフォルダー名を表示します。このとき先頭には、表示中のフォルダーを示すアイコンが表示されます。

### ファイル名表示

現在表示しているフォルダー内にあるファイル名を表示し、現在選択しているファイルのファイル名を背景橙色表示します。また、先頭にファイルの種類を表すアイコンが表示されます。

## 表示アイコンについて

以下にアイコン表示内容を説明します。

### 動画ファイル (📺)

動画ファイルは、“📺”アイコンのあとにファイル名が表示されます。動画モードでのみ表示されます。表示可能な動画ファイルは、拡張子が“.mov”で再生可能な動画ファイルです。

### 音声ファイル (🔊)

音声ファイルは、“🔊”アイコンのあとにファイル名が表示されます。音声モードでのみ表示されます。表示可能なファイルは、拡張子が“.wav”の音声ファイルのみです。

### 静止画ファイル (📷)

静止画ファイルは、“📷”アイコンのあとにファイル名が表示されます。静止画モードでのみ表示されます。表示可能なファイルは、拡張子が“.jpg”の静止画ファイルのみです。

### フォルダー (📁)

microSDカード内に存在するマイフォルダー以下に作成されたフォルダーです。

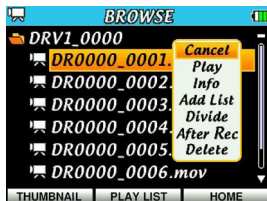
### 表示中のフォルダー (📁)

現在、このフォルダーの内容を画面表示しています。

## 第6章 ファイルやフォルダーの操作（BROWSE画面）

### ファイル操作

“BROWSE”画面内の希望のファイルを選択（反転表示）し、ポインティングスティックを中央で押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。



ポインティングスティックを上/下（▲ / ▼）に動かして希望のメニュー項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを中央で押すと、本機が以下の動作を行います。

#### Cancel

選択中のファイルに関する操作をキャンセルし、ポップアップメニュー表示を閉じます。

#### Play

ホーム画面に戻り、選択したファイルを再生します。再生範囲設定が“FOLDER”の場合は、このファイルを含むフォルダーが再生範囲になります。

#### Info

選択したファイルの情報（ファイル名+ファイル形式、日付、ファイルサイズ）がポップアップ表示されます。F3/HOME “[Close]” ボタンを押すと、“BROWSE”画面に戻ります。

#### Add List

プレイリストに選択したファイルを登録します。（→ 66ページ「プレイリスト」）

#### Divide

分割（DIVIDE）モードを起動します。このモードで選択したファイルを分割することができます。（→ 52ページ「ファイルを分割する（DIVIDE）」）

静止画ファイルは、分割を選択できません。

#### After Rec

記録（録画）待機状態になり、選択した動画ファイルに音声を上書きできます。

アフターレックは、動画ファイルに対してのみ実行できます。

#### Delete

選択したファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。F1(φ/I) “[YES]” ボタンを押すとファイルが削除され、F3/HOME “[NO]” ボタンを押すと削除が中止されます。

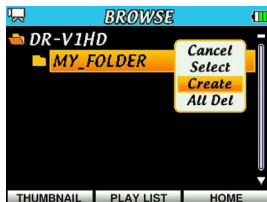
#### メモ

ファイルの削除を実行すると、対象ファイルがプレイリストに登録されている場合には、プレイリストの登録からも削除されます。

## 第6章 ファイルやフォルダーの操作 (BROWSE画面)

### フォルダー操作

“BROWSE”画面内の希望のフォルダーを選択(背景橙色表示)し、ポインティングスティックを中央で押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。



ポインティングスティックを上/下(▲/▼)に動かして希望のメニュー項目を選択(反転表示)し、ポインティングスティックを中央で押すと、本機が以下の動作を行います。

#### Cancel

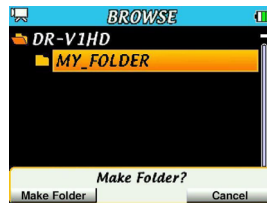
選択中(反転表示中)のフォルダーに関する操作をキャンセルします。

#### Select

ホーム画面に戻り、選択したフォルダー内の最初のファイルが選択されます。直前の再生範囲設定にかかわらず、このフォルダーが再生範囲になります。また、この操作で選択(反転表示)されたフォルダーに、記録(録画/録音)したファイルが保存されます(選択したフォルダーをカレントフォルダーにします)。

#### Create

新たなフォルダーを作成する確認のポップアップメッセージが表示されます。



F1(☺/I) “[Make Folder]” ボタンを押すとフォルダーが作成され、F3/HOME “[Cancel]” ボタンを押すと作成が中止されます。

#### All Del

選択(背景橙色表示)したフォルダー内のファイルを、一括削除する確認のポップアップメッセージが表示されます。

F1(☺/I) “[Delete]” ボタンを押すとファイルが削除され、F3/HOMEボタン “[Cancel]” を押すと削除が中止されます。

#### メモ

パソコンで書き込み禁止設定を行ったファイル、本機で認識されていないファイルおよびサブフォルダーは、削除できません。

## 第7章 動画または音声を再生する

ホーム画面上では、**ポインティングスティック**を左/右(◀/▶)に動かして再生する曲(ファイル)を選びます。このときに選択可能なファイルの範囲を「再生範囲」として設定することができます。カード上に数多くのファイルが記録(動画/音声)されている場合など、選択範囲を限定することにより選択がやりやすくなります。

“Play Option”画面の“PLAY AREA”項目で、再生範囲を全ファイル(“ALL”)、現在のフォルダー(“FOLDER”)、プレイリスト(“PLAY LIST”)の中から選択することができます。また、“BROWSE”画面を使って希望のフォルダーを再生範囲に設定することができます。

### メモ

“BROWSE”画面では、再生範囲設定にかかわらず、カード上の希望のファイルを選択することができます。

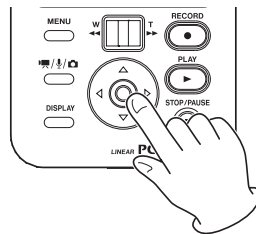
### 動作モードを設定する

記録(録画/録音)したファイルの再生に使用する動作モードを設定します。(→ 37ページ「動作モードの設定」)

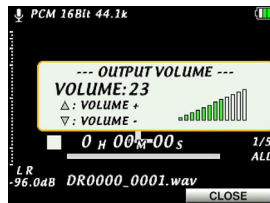
動画ファイルを再生するときは動画モードを、音声ファイルを再生するときは音声モードを選択します。

### 再生の音量を調節する

内蔵スピーカーおよび Ω /LINE OUT端子から出力される音量を、ホーム画面表示中に**ポインティングスティック**を上/下(▲/▼)に動かして調節します。



このとき、ボリューム位置がディスプレイにポップアップ表示されます。

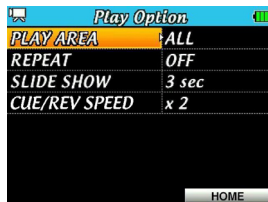


数秒後に自動でポップアップ表示を閉じてホーム画面に戻りますが、**F3/HOME** “[CLOSE]” ボタンを押してポップアップ表示を閉じることができます。

### 再生範囲を設定する

“Play Option” 画面の “PLAY AREA” 項目で、再生範囲を設定することができます。

1. MENUボタンを押して、“MENU” 画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って “PLAY” メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して “PLAY Option” 画面を表示します。



3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして “PLAY AREA” 項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。



4. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして、再生範囲を設定します。

#### ALL（初期値）：

microSDカード上の “MY\_FOLDER” フォルダ内の全ファイルを再生することができます。

#### FOLDER：

現在選ばれているファイルが含まれているフォルダ内のファイルを再生することができます。

#### PLAY LIST：

プレイリストに登録されているファイルを再生することができます。（→ 66ページ「プレイリスト」）  
プレイリストが存在しない場合は、ポップアップメッセージ “No PLAYLIST” を表示します。

5. 設定が終了したら、F3/HOMEボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

#### メモ

再生範囲の現在の設定が、ホーム画面右下部に表示されます。

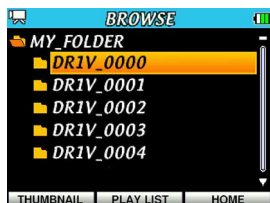


## 第7章 動画または音声を再生する

### BROWSE画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する (1)

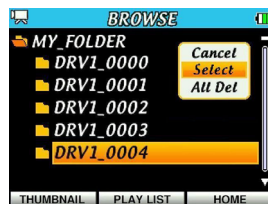
現在の再生範囲にかかわらず、“BROWSE”画面でフォルダーを選択すると、選択したフォルダーが再生範囲になります。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“BROWSE”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“BROWSE”画面を表示します。



3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして、再生範囲にしたいフォルダーを選択（背景橙色表示）します。“BROWSE”画面でのナビゲーション操作については、「BROWSE画面内のナビゲーション」（58ページ）をご覧ください。

4. ポインティングスティックを中央で押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。



ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“Select”を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを中央で押します。

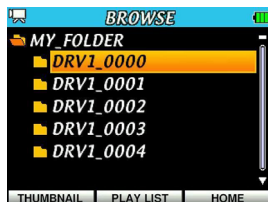
ホーム画面に戻り、フォルダー内の最初のファイルが選択されます。以前の再生範囲設定にかかわらず、このフォルダーが再生範囲になります。



### BROWSE画面を使って再生範囲のフォルダーを選択する (2)

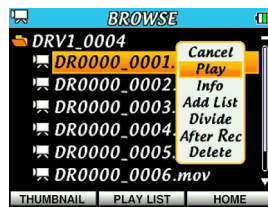
再生範囲が“FOLDER”のとき、“BROWSE”画面でファイルを選択すると、選択したファイルを含むフォルダーが再生範囲になります。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“BROWSE”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“BROWSE”画面を表示します。



3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして、再生したい動画または曲（ファイル）が入っているフォルダーを選択（背景橙色表示）します。  
“BROWSE”画面でのナビゲーション操作については、「BROWSE画面内のナビゲーション」（58ページ）をご覧ください。
4. ポインティングスティックを右（▶）に動かします。
5. 再生したい曲（ファイル）を選択（背景橙色表示）します。

6. ポインティングスティックを中央で押すと、以下のポップアップメニューが表示されます。



ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“Play”を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを中央で押します。

ホーム画面に戻り、選択したファイルが再生されます。

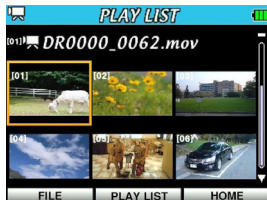
再生範囲が“FOLDER”に設定されていた場合は、選択したファイルを含むフォルダーが再生範囲になります。

## 第7章 動画または音声を再生する

### プレイリスト

再生するファイルのリスト(プレイリスト)を作成することができます。“PLAY Option”画面の“Play Area”項目で“PLAY LIST”に設定すると、プレイリスト上の曲を再生することができます。プレイリストは、各動作モードに対して1つずつあり、現在の動作モードのプレイリストだけを作成、編集、使用することができます。プレイリストは、各ファイルの画像を表示するサムネイル表示モードと、アイコンとファイル名を表示するリスト表示モードの2種類があります。

#### サムネイル表示モード(初期値)



##### 動作モード表示:

現在の動作モードを左上に表示します。

##### リスト順番号表示:

現在選択されているファイル(橙色枠表示)のリストでの順番を“[ ]”内に表示します。

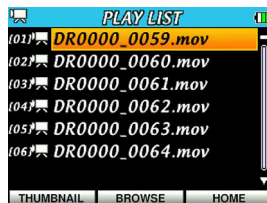
##### ファイル名表示:

現在選択されているファイル(橙色枠表示)のファイル名を表示します。また、先頭にファイルの種類を表すアイコンが表示されます。

##### ファイルサムネイル表示:

ファイルのサムネイルを表示します。

#### リスト表示モード



##### 動作モード表示:

現在の動作モードを左上に表示します。

##### リスト順番号表示:

現在プレイリストに登録されているファイル(背景橙色表示)のリストでの順番を“[ ]”内に表示します。

##### ファイル名表示:

現在プレイリストに登録されているファイルのファイル名を表示し、現在選択しているファイルのファイル名を背景橙色表示します。また、先頭にファイルの種類を表すアイコンが表示されます。

#### メモ

- 表示アイコンの内容については、「表示アイコンについて」(59ページ)をご覧ください。
- 日本語などの多バイト文字のファイル名は、正しく表示できません。

### プレイリストに登録する

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“BROWSE”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“BROWSE”画面を表示します。

#### メモ

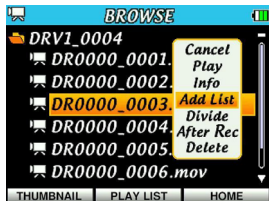
“BROWSE”画面の詳細については、「第6章 ファイルやフォルダーの操作（BROWSE画面）」（57ページ）をご覧ください。

3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かしてプレイリストに登録したいファイルを選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを中央で押します。  
ポップアップメニューが表示されます。

#### メモ

ファイルの選択方法の詳細については、「BROWSE画面内のナビゲーション」（58ページ）をご覧ください。

4. ポインティングスティックを使って、“Add List”を選択（背景橙色表示）します。

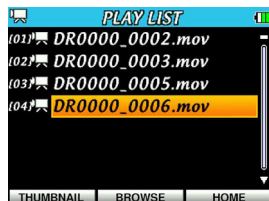


5. ポインティングスティックを中央で押します。  
選択した曲がプレイリストに登録され、ポップアップメニューが閉じます。
6. 必要に応じて上記手順3、4、5を繰り返します。リスト上では、登録順に曲番号が付けられます。

### プレイリストを編集する

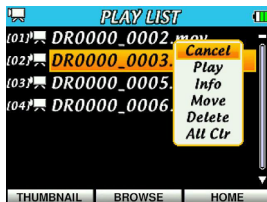
“PLAYLIST”画面には、作成したプレイリストが表示されます。また、この画面を使って、ファイルの再生やプレイリストの編集を行うことができます。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“PLAY LIST”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“PLAY LIST”画面を表示します。



## 第7章 動画または音声を再生する

3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして編集したいファイルを選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを中央で押してポップアップメニューを表示します。



4. ポインティングスティックを使って希望のメニュー項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを中央で押すと、本機が以下の動作を行います。

**Cancel :**

選択中のファイルに関する操作をキャンセルします。

**Play :**

ディスプレイがホーム画面に戻り、選択したファイルを再生します。

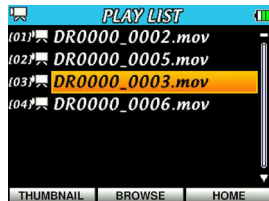
**Info :**

選択したファイルの情報（ファイル名、ファイル形式、日付、サイズ）をポップアップ表示します。ポップアップ表示中に**F3/HOME** “[Close]” ボタンを押すと、“**PLAY LIST**” 画面に戻ります。

**Move :**

選択しているファイルの順番を変更します。ファイル名だけでなく、曲番数字も背景橙色表示になります。

- ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして、プレイリスト内で選択ファイルの曲順を移動します。



上図は、2曲目のファイルを3曲目に移動した例です。

- ポインティングスティックを中央で押します。

移動が完了して、通常の“**PLAY LIST**”画面に戻ります。

**Delete :**

曲をプレイリストから削除します。プレイリストから削除されませんが、microSDカードからは削除されません。

**All Ctr :**

プレイリスト上の全てのファイルを削除する確認のポップアップメッセージが表示されますので、削除する場合は**F1 (φ/I)** “[YES]” ボタンを押します。削除しない場合は、**F3/HOME** “[NO]” ボタンを押します。

この操作の場合は、手順3.でどの曲を選択してもかまいません。全ファイルがプレイリストから削除されますが、microSDカードからは削除されません。



### 再生するファイルを選択する（スキップ）

ホーム画面表示中にポインティングスティックを左/右（◀ / ▶）に動かして、再生したいファイルを選択します。

ファイルの再生途中でポインティングスティックを左（◀）に動かすとファイルの先頭へ戻り、ファイルの先頭でポインティングスティックを左（◀）に動かすと1つ前のファイルの先頭にスキップします。

ファイルの先頭、または途中でポインティングスティックを右（▶）に動かすと、次のファイルへスキップします。

#### メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内のファイルです。
- 再生中のファイル情報（ファイル名など）やファイル番号がディスプレイ上に表示されます。
- ファイルの先頭で停止しているときは、ディスプレイに動作アイコン  を表示します。ファイルの途中で停止しているときは、動作アイコン  を表示します。

### 再生する

ホーム画面で停止中にPLAYボタンを押すと、再生を始めます。

#### メモ

- 再生できるファイルは、再生範囲内の動作モードにあった形式のファイルです。
- “BROWSE”画面でファイル名を選択して再生させることもできます。
- 本機で作成されたmovファイルしか再生できません。

### 停止する

ホーム画面で再生中にSTOP/PAUSEボタンを押すと、その位置で一時的に停止します。

再度、STOP/PAUSEボタンを押すと、ファイルの先頭に戻ります。一時停止中にPLAYボタンを押すと、その位置から再生を始めます。

### 早戻し／早送りをする（サーチ）

ホーム画面で停止中または再生中にズームレバーを左右（W [◀◀] 側またはT [▶▶] 側）に押し、早戻し／早送りサーチ再生を行います。早戻し／早送りサーチ再生時には、音声がありません。

#### W [◀◀] 側に押したとき

早戻しサーチ再生をファイルの先頭まで続け、ファイルの先頭で停止します。再度 W [◀◀] 側に押し、早戻しサーチ再生の速度が変わります。

#### T [▶▶] 側に押したとき

早送りサーチ再生を次のファイルになるまで続け、次のファイルの先頭で停止します。再度 T [▶▶] 側に押し、早送りサーチ再生の速度が変わります。

#### W [◀◀] 側に長押ししたとき

レバーを押している間早戻し再生サーチを続け（ファイルの先頭で停止せずに続きます）、レバーを戻すとその位置から再生を開始します。

#### T [▶▶] 側に長押ししたとき

レバーを押している間早送り再生サーチを続け（ファイルの末尾で停止せずに続きます）、レバーを戻すとその位置から再生を開始します。

## 第7章 動画または音声を再生する

### メモ

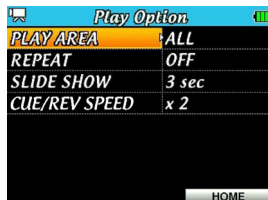
スピードの変化は、以下のようになります。

	サーチを開始する前の状態	
	停止中／一時停止中	再生中
押すごとに変化	×10→×100→×1000	×5→×10→×50
長押し	×10	“CUE/REV Speed” 項目の設定による

### 早戻し／早送りスピードの設定

“Play Option”画面の“CUE/REV Speed”項目で、再生状態からズームレバーを長押ししたときの早戻し／早送りのスピードを設定することができます。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“PLAY”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“Play Option”画面を表示します。



3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“CUE/REV SPEED”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。



4. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして、早戻し／早送りスピードを設定します。  
選択肢：“x2”（2倍、初期値）～“x10”（10倍）
5. 設定が終了したら、F3/HOMEボタンを押してホーム画面に戻ります。


### 繰り返し再生する (REPEAT)


1つのファイルを繰り返して再生したり、指定した範囲内の複数のファイルを繰り返して再生することができます。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“PLAY”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“Play Option”画面を表示します。
3. ポインティングスティックを上/下（▲ / ▼）に動かして“REPEAT”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。
4. ポインティングスティックを上/下（▲ / ▼）に動かして、リピートの動作モードを設定します。



OFF（初期値）：通常の再生（再生範囲内の連続再生）を行うモードです。

ON：再生範囲設定で設定した範囲内の全曲をリピート再生するモードです。ホーム画面に“”アイコンが表示されます。

SINGLE：再生中のファイルをリピート再生するモードです。ホーム画面に“”アイコンが表示されます。

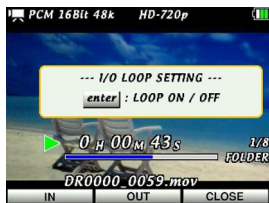
5. 設定が終了したら、F3/HOMEボタンを押してホーム画面に戻ります。

## 第7章 動画または音声を再生する

### IN-OUTループ再生する

以下の手順で、ファイル内の希望の区間を繰り返し再生（IN-OUTループ再生）することができます。

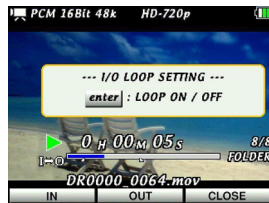
1. ホーム画面で停止中、一時停止中または再生中にF1（ $\phi$ /I）“[I/O LOOP]” ボタンを押して、IN-OUTループ再生を設定する“---I/O LOOP SETTING---”をポップアップ表示します。



停止中または一時停止中の場合は、PLAYボタンを押して再生を開始します。

2. IN-OUTループ再生したい区間の始点でF1（ $\phi$ /I）“[IN]” ボタンを押します。  
現在位置がIN点（始点）として設定され、再生位置表示バー下の該当する位置に“ $\phi$ ”アイコンが表示されます。
3. IN-OUTループ再生したい区間の終点でF2 “[OUT]” ボタンを押します。  
現在位置がOUT点（終点）として設定され、再生位置表示バー下の該当する位置に“ $\square$ ”アイコンが表示されます。

4. ポインティングスティックを中央で押すと、IN-OUTループ再生機能がオンになります。このときホーム画面に“[I/O]”アイコンが表示され、IN-OUT点間のループ再生が開始されます。



再度ポインティングスティックを中央で押すとオフになり、ホーム画面から“[I/O]”アイコンが消えます。

5. F3/HOME “[CLOSE]” ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

### メモ

- IN-OUTループ再生を中止するには、再度F1（ $\phi$ /I）“[I/O LOOP]” ボタンを押して“---I/O LOOP SETTING---”をポップアップ表示し、ポインティングスティックを中央で押し “[I/O]” アイコンを消し、IN-OUTループ再生をオフにします。
- 2つ以上のファイルをまたいでのIN点（始点）およびOUT点（終点）の設定はできません。



### 特殊な再生 (VSA機能)

本機では、VSA機能 (Variable Speed Audition) が搭載されており、再生音の音程を保ったまま再生速度を変えることができます。

VSA機能を使って、練習やフレーズコピーを効果的に行うことができます。

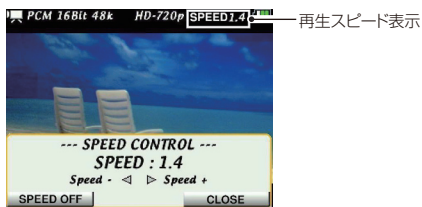
### 再生速度を変える (1)

ホーム画面表示中にF3/HOME “[SPEED]” ボタンを押して、再生速度を設定する “---SPEED CONTROL---” をポップアップ表示します。

ポインティングスティックを左/右 (◀ / ▶) に動かして、再生速度を設定することができます。

設定後、F1 (◁ / 1) “[SPEED OFF]” ボタンを押すと、スピードコントロールがオフ (無効) になります。

スピードコントロールが有効時は、ホーム画面上部に数字で表示されます。



“---SPEED CONTROL---” をポップアップ表示中にF1 (◁ / 1) “[SPEED OFF]” / “[SPEED ON]” ボタンを押すたびにスピードコントロールのオン/オフ設定が切り換わりますので、設定したスピードとノーマルスピードを簡単に切り換えることができます。

再生速度可変範囲は、0.5倍～1.5倍 (0.1倍単位) です (初期値 : 1.0倍)。

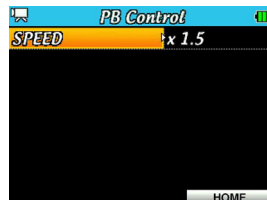
### メモ

- この機能が使えるのは、動画モードまたは音声モードのみです。
- 本機のスピードコントロールでは、常に曲の音程を保ったままスピードを変えることができます。  
この機能は、“PB Control” 画面の “SPEED” 項目でも設定できます。
- Fs=96kHzのファイルの場合は、スピードコントロール機能が無効のため “SPEED” が表示されません。

### 再生速度を変える (2)

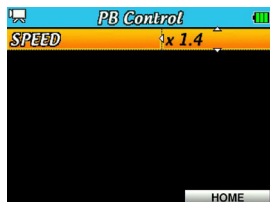
再生速度の設定は、“PB Control” 画面でも設定できます。

1. MENUボタンを押して、“MENU” 画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って “PB CTRL” メニュー項目を選択 (橙色枠表示) し、ポインティングスティックを中央で押して “PB Control” 画面を表示します。



## 第7章 動画または音声を再生する

3. ポインティングスティックを右 (▶) に動かすか中央で押します。



4. ポインティングスティックを上/下 (▲ / ▼) に動かして、スピードを設定します。  
再生スピード可変範囲は、“x0.5” (0.5倍) ~ “x1.5” 倍 (1.5倍) (x0.1単位) です (初期値：“x1.0” (1.0倍))。
5. 設定が終了したら、F3/HOMEボタンを押してホーム画面に戻ります。

### 選択ファイルを削除する

“BROWSE” 画面を使わずに、現在選択されているファイルを削除することができます。

1. ポインティングスティックを左/右 (◀ / ▶) に動かして、削除したいファイルを選択します。
2. ホーム画面で停止中、一時停止中または再生中にF2 “[DELETE]” ボタンを押します。  
確認のポップアップメッセージ“--FILE DELETE--”が表示されます。



3. 表示されているファイルを削除してもよい場合は、F1 (⏪ / I) “[YES]” ボタンを押します。ファイルが削除され、ホーム画面に戻ります。  
削除が完了すると、再生範囲の次のファイルがロードされます。このとき確認のポップアップメッセージ“--FILE DELETE--”を表示する前の状態になりますが、一時停止中または再生中だった場合には停止状態になります。  
F3/HOME “[NO]” ボタンを押すと、削除せずにホーム画面に戻ります。

### メモ

“BLOWSE” 画面からもファイルを削除することができます。( → 60ページ「ファイル操作」)

### 動画共有サイトへのアップロードについて

本機で録画した動画ファイルを動画共有サイトにアップロードする事が可能です。  
詳しくは、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) をご参照ください。

## 第8章 静止画を連続して見る（スライドショー）

本機は、動画や音声ファイルを再生するほかに、静止画を連続して見る（スライドショー）ことができます。

### 動作モードを設定する

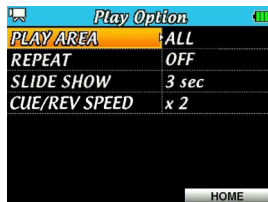
静止画の連続表示（スライドショー）に使用する動作モードを設定します。（→ 37ページ「動作モードの設定」）

静止画を表示するときは、静止画モードを選択します。

### 表示時間を設定する

静止画1枚ごとの表示時間を変えることができます。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“PLAY”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“Play Option”画面を表示します。



3. ポインティングスティックを上/下（▲/▼）に動かして“SLIDE SHOW”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。

4. ポインティングスティックを上/下（▲/▼）に動かして、スライドショーの表示時間を設定します。



“1 sec”（1秒）から“10 sec”（10秒）の間で、1秒刻みで設定することができます。（初期値：“3sec”）

5. 設定が終了したら、F3/HOMEボタンを押してホーム画面に戻ります。

### 静止画を連続して見る

ホーム画面で、停止中にPLAYボタンを押すと、スライドショーを始めます。



## 第8章 静止画を連続して見る（スライドショー）

---

### スライドショーを止める

---

ホーム画面で、スライドショー中に**STOP/PAUSE**ボタンを押すと、その位置で停止します。

再度、その位置から**PLAY**ボタンを押すと、その静止画ファイルからスライドショーを始めます。

#### メモ

スライドショー時にも再生範囲の設定や、プレイリストの設定も有効となります。詳しくは、第7章「動画または音声を再生する」をご覧ください。

## 第9章 パソコンと接続する

本機をパソコンと付属のUSBケーブルで接続することで、本機のmicroSDカードの中の動画ファイルや静止画ファイル、音声ファイルをパソコンに取り出したり、パソコンの中の動画ファイルや静止画ファイル、音声ファイルを本機に取り込んだりすることができます。本機で取り扱うことができるファイル形式は、以下の通りです。

### 動画ファイル

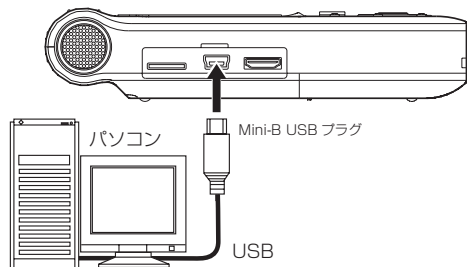
MOV：本機で記録（動画／音声）したSDまたはHDのファイル

### 音声ファイル

WAV：44.1k/48k/96kHz、16/24ビット

### 画像ファイル

JPEG：本機で記録（撮影）解像度640 x 480または1280 x 720のファイル



### メモ

本機とパソコンをUSB接続する代わりに、本機からmicroSDカードを取り外して直接（あるいはカードアダプターを使って）パソコンにセットしても、同じ操作ができます。

### 注意

- USBバスパワーには対応していません。このため、USB接続中も電池を消耗します。
- USB接続中は、本機の操作はできません。

接続すると本機のディスプレイに“USB connected”が表示されます。



本機にmicroSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。microSDカードが正しく挿入されていない状態では、ポップアップメッセージ“NO SDCARD”が表示されます。正しく接続されるとパソコンのディスプレイ上に、本機が《DR-V1HD》というボリュームラベルの外部ドライブとして表示されます。

## 第9章 パソコンと接続する

### パソコンへファイルを取り出す

1. パソコンのディスプレイ上の《DR-V1HD》ドライブをクリックすると、《MY\_FOLDER》フォルダーと《UTILITY》フォルダーが表示されます。
2. 《MY\_FOLDER》フォルダーを開き、パソコンに取り出したいファイルを任意の場所にドラッグ&ドロップします。

#### 注意

- USBバスパワーには対応していません。このため、USB接続中も電池を消耗します。  
パソコンへファイルを取り出すときには、電池残量が十分にある状態もしくは別売りの専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）を使用したうえで行ってください。
- 《MY\_FOLDER》のフォルダー名は変更しないでください。  
変更すると記録されていたファイルが本機で認識できなくなります。

### パソコンからファイルを取り込む

取り込み可能な動画/静止画ファイルは本機で記録（録画/撮影）したものに限りです。

1. パソコンのディスプレイ上の《DR-V1HD》ドライブをクリックすると、《MY\_FOLDER》フォルダーと《UTILITY》フォルダーが表示されます。
2. パソコンの任意のファイルを《MY\_FOLDER》フォルダーの任意の場所にドラッグ&ドロップします。

#### 注意

《MY\_FOLDER》のフォルダー名は変更しないでください。  
変更すると記録されていたファイルが本機で認識できなくなります。

#### ヒント

- パソコン上の操作で、《MY\_FOLDER》フォルダー内を管理することができます。
- 《MY\_FOLDER》フォルダー内にサブフォルダーを作成することができます。サブフォルダーは、第1階層まで作成できます。本機では、第2階層以下のサブフォルダーおよびファイルは認識できません。
- 本機では、フォルダー内のみを再生範囲に設定することもできますので、取り込む楽曲のカテゴリーや演奏者別に整理しておくとう便利です。
- サブフォルダーや楽曲に希望の名前を付けておくと、本機のホーム画面上やブラウズ画面上に表示されます。

#### メモ

日本語などの多バイト文字のファイル名やフォルダー名は、正しく表示できません。

### パソコンとの接続を解除する

パソコンと本機の接続を外すときは、パソコンから本機を正しい手順で切り離してから、USBケーブルを外します。  
シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。  
パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

## 情報を見る (INFORMATION)

各“INFORMATION”画面で、本機の各種情報を見ることができます。以下の手順で各“INFORMATION”画面を表示します。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“SETUP”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“Setup”画面を表示します。
3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“INFORMATION”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。
4. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして確認する項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを中央で押します。

### FILE :

ロード中の各種ファイルの情報を表示

### CARD :

セットしているmicroSDカードの使用状況を表示

### SYSTEM :

本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示

5. 確認が終了したら、F3/HOMEボタンを押してホーム画面に戻りません。

## ファイル情報画面 (FILE)

“INFORMATION (FILE)”画面では、ロード中のファイルの情報を表示します。



INFORMATION (FILE)	
MOV	720p, 30fps, 7.72Mbps
	16bit, STEREO, 44.1K
TITLE	DR0000_0345.mov
DATE	2012/03/08 15:40
SIZE	8.7M byte

### MOV / WAV / JPEG

ロード中のファイル情報に合わせて、下記の必要情報を表示します。  
画像サイズ、フレームレート、ビットレート、ビット長、ステレオ／モノ、  
サンプリング周波数

### TITLE

ファイル名を表示します。

### メモ

日本語などの多バイト文字のファイル名は、正しく表示できません。

### DATE

ファイルの日付を表示します。

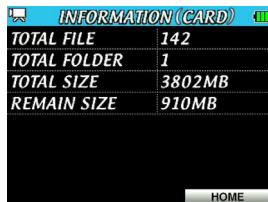
### SIZE

ファイルサイズを表示します。

## 第10章 各種設定および情報表示

### カード情報画面 (CARD)

“**INFORMATION (CARD)**” 画面では、挿入しているmicroSDカードの使用状況を表示します。



INFORMATION (CARD)	
TOTAL FILE	142
TOTAL FOLDER	1
TOTAL SIZE	3802MB
REMAIN SIZE	910MB

#### TOTAL FILE

再生可能なファイル数を表示します。

#### TOTAL FOLDER

フォルダー数を表示します。

#### TOTAL SIZE

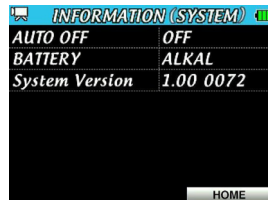
microSDカードの総メモリ容量を表示します。

#### REMAIN SIZE

microSDカードの残容量を表示します。

### システム情報画面 (SYSTEM)

“**INFORMATION (SYSTEM)**” 画面では、電源のオートオフと電池の種類の設定情報、本機のシステムのファームウェアバージョンを表示します。



INFORMATION (SYSTEM)	
AUTO OFF	OFF
BATTERY	ALKAL
System Version	1.00 0072

#### AUTO OFF

電源のオートオフ設定を表示します。

#### BATTERY

使用する電池の種類の設定を表示します。

#### System Version

システムファームウェアのバージョン情報を表示します。



### 環境設定 (SETUP)

使用環境や条件に合わせて本機を快適に使うためのさまざまな設定、および本機の初期化やmicroSDカードのフォーマットを、“Setup”画面で行います。

以下の手順で“Setup”画面を表示します。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“SETUP”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“Setup”画面を表示します。



“Setup”画面の各項目で、以下の設定を行うことができます。  
ポインティングスティックを使って、各項目の設定をします。

3. 設定が終了したら、F3/HOMEボタンを押してホーム画面に戻ります。

### 電源のオートオフ設定

“AUTO OFF”項目で、最後に動作あるいは操作してから自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。

選択肢：“OFF”、“3min”、“5min”、“10min”、“30min”（初期値）

### バックライトのオートオフ設定

“BACKLIGHT”項目で、電池駆動時、最後に操作してから自動的にバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

選択肢：“ON”（初期値）、“OFF 5sec”、“OFF 10sec”、“OFF 15sec”、“OFF 30sec”

### バックライトの輝度調節

“DIMMER”項目で、バックライトの輝度を調節することができます。

選択肢：“HIGH”（初期値）、“LOW”、“ALL OFF”（点灯しない）

### 電池の種類の設定

“BATTERY”項目で、使用する電池の種類を設定します。この設定は、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別に使用されます。

選択肢：“ALKAL”（アルカリ乾電池（初期値））、  
“NiMH”（ニッケル水素電池）

## 第10章 各種設定および情報表示

### ファイル名の形式を設定する

“Setup”画面の“FILE NAME”項目で、本機で記録（録画／録音／撮影）するファイルの名前の形式をします。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“SETUP”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“Setup”画面を表示します。
3. ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして“FILE NAME”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押します。  
“File Name”画面が表示されます。



4. ポインティングスティックを左／右（◀／▶）に動かしてカーソル（背景橙色表示部）を移動し、ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして各項目を設定します。
5. F1（Ⓞ/1）“[SET]”ボタンを押すと変更が確定し、“Setup”画面に戻ります。  
F3/HOME “[INC CLEAR]”ボタンを押すと、自動でインクリメントされるファイル番号を初期化します。

### ファイル名の形式

“TYPE”項目で、“WORD”か“DATE”かを設定します。

WORD（初期値）：“WORD”で設定した6文字をファイル名に付けます。

（例）DR0000\_0000.mov

DATE：日時をファイル名に付けます。

（例）090101\_0000.mov

### メモ

日時は、本体内の時計を基に設定されます。（→ 33ページ「日時を設定する」）

### 文字（WORD）の設定

“WORD”項目でポインティングスティックを左／右（◀／▶）に動かしてカーソルを移動し、ポインティングスティックを上／下（▲／▼）に動かして文字を設定します。

文字は英数の他に、記号「! # \$ % & ' ( ) + , - . : ; = @ [ \ ] ^ \_ ` { }」が使用可能です。

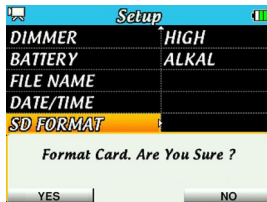
### フォーマットする

“Setup”画面の“SD FORMAT”項目で、microSDカードをフルフォーマットします。フルフォーマットを行うと、カード上の全ての記録（動画／音声／静止画）ファイルが消去され、《MY\_FOLDER》フォルダー、《UTILITY》フォルダーおよび《NVRAM.txt》が自動生成されます。

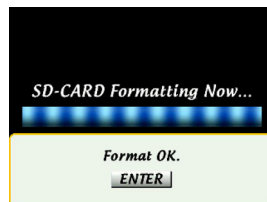
#### 注意

《NVRAM.txt》は、パソコンと接続するとファイルにアクセスできませんが編集等をしますと本機が正常に動作しなくなる可能性があります。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“SETUP”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“Setup”画面を表示します。
3. ポインティングスティックを使って“SD FORMAT”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。



4. F1(☺/!) “[YES]” ボタンを押して、フォーマットを実行します。フォーマットしない場合は、F3/HOME “[NO]” ボタンを押します。フォーマットが終了すると以下のポップアップメッセージを表示します。



#### 注意

フォーマットの実行は、別売のACアダプター（TASCAM PS-P520）を使用するか、電池の残量が十分な状態で行ってください。フォーマット中に電池切れになると、正常なフォーマットができない場合があります。

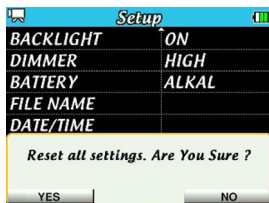
5. ポインティングスティックを中央で押して、“Setup”画面に戻ります。

## 第10章 各種設定および情報表示

### 初期設定に戻す

“Setup”画面の“INITIALIZE”項目でイニシャライズを実行することにより、本機のさまざまな設定を初期設定状態に戻すことができます。

1. MENUボタンを押して、“MENU”画面を表示します。
2. ポインティングスティックを使って“SETUP”メニュー項目を選択（橙色枠表示）し、ポインティングスティックを中央で押して“Setup”画面を表示します。
3. ポインティングスティックを使って“INITIALIZE”項目を選択（背景橙色表示）し、ポインティングスティックを右（▶）に動かすか中央で押すと、確認のポップアップメッセージが表示されます。



4. F1 (♂/1) “[YES]” ボタンを押して、イニシャライズを実行します。  
イニシャライズしない場合は、F3/HOME “[NO]” ボタンを押します。

#### 注意

カード使用途中でイニシャライズを実行した場合でも自動でファイル名に付与されるファイル番号は初期化されません。  
ファイル番号を初期化する方法は、82ページ「ファイル名の形式を設定する」を参照してください。

# 第11章 メッセージ

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。

DR-V1HDでは、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
Battery Empty	電池の残量がありません。 電池を交換してください。もしくは、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）をご使用ください。
Can't Divide	DIVIDE実行時に分割位置が適切ではありません。（曲の先頭、曲の最後） 適切な位置で実行してください。
Card Error	カードを正常に認識できません。 カードを交換してください。
Card Full	カードの残容量がありません。 不要なファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
Dup File Name	DIVIDEにより作成されるファイルと同じファイル名のファイルが同じフォルダー内に既に存在します。 DIVIDEを行うとファイル名の末尾に「_a」または「_b」が追加されます。 DIVIDEを行う前にパソコンと接続し、ファイル名を変更してください。
File Full	フォルダーとファイルの総数が制限値（9999個）を超えました。 不要なフォルダーやファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
File Name ERR	DIVIDEによりファイル名の文字数が200文字を超えました。 DIVIDEを行うとファイル名の末尾に「_a」または「_b」が追加されます。 DIVIDEを行う前にパソコンと接続し、198文字以下のファイル名に変更してください。
File Not Found	プレイリストに登録されているファイルが見つかりません。 有効なフォルダー内に対象のファイルがあるか確認してください。
File Protected	リードオンリーファイルのため、削除できません。 パソコンでリードオンリーを解除してください。
Format Error Format CARD	カードが正常にフォーマットされていないか、カードが壊れている可能性があります。このメッセージは、USB接続したパソコンでFATフォーマットした場合や未フォーマットのカードを挿入した場合にも表示されます。 フォーマットは、必ずDR-V1HD本体で行ってください。カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で <b>F1 [YES]</b> ボタンを押すと、FATフォーマットが実行されます。 FATフォーマットが実行されるとカード内のデータは、全て消去されます。

## 第11章 メッセージ

メッセージ	内容と対処方法
I/O Too Short	IN点とOUT点の間隔が短すぎます。 1秒以上空けて設定してください。
Non-Supported	ファイル形式がサポート対象外です。 取り扱い可能なファイル形式については、「第9章 パソコンと接続する」をご覧ください。
No PLAYLIST	プレイリストにファイルが登録されていません。 プレイリストにファイルを登録するか、再生範囲を「PLAYLIST」以外に設定してください。
Out Of Card Space	DIVIDE実行時のための空き容量が不足しています。分割するファイルと同容量以上の空き容量がSDカードに必要です。 不要なファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
PLAYLIST Full	プレイリストが一杯です。 プレイリストには、最大99ファイルまで登録可能です。
Unsupported Sampling Rate!!	動画モードでは、サンプリング周波数が96kHzの設定で録画はできません。 サンプリング周波数を44.1kHzまたは48kHzに設定してください。
Write Timeout	カードへの書き込みが間に合いませんでした。 ファイルをパソコンへバックアップの上、フォーマットを実行してください。
NO SDCARD	microSDカードが挿入されていません。正しく挿入しなおしてください。
No File	ブラウズにて表示できるファイルがありません。
No Movie File	再生範囲に動画ファイル (mov) がありません。
No Audio File	再生範囲に音声ファイル (wav) がありません。
No Photo File	再生範囲に画像ファイル (jpg) がありません。
System Error	CPU系、通信系などのいわゆるシステムエラー これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れなおしてください。 電源を切ることができない場合は、電池や専用ACアダプター (TASCAM PS-P520) を取り外してください。 これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。

## 第12章 トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

### ● 電源が入らない。

↓

- 電池が消耗していませんか？
- 電池の⊕、⊖を間違えてセットしていませんか？
- 別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）の電源プラグがしっかりと差し込まれていますか？

### ● 本体で操作できない。

↓

- HOLDスイッチが矢印方向にセットされていますか？
- USB接続（USB Connected）になっていませんか？

### ● microSDカードを認識しない。

↓

- microSDカードがしっかりと挿入されているか確認してください。

### ● 再生できない。

↓

- MOVファイルは、本機で録画したファイルのみ再生可能です。
- WAVファイルの場合は、本機が対応しているサンプリング周波数であるかどうかを確認してください。

### ● スピーカーから音が出ない。

↓

- ヘッドホンをつないでいませんか？
- **SPEAKER**スイッチが**OFF**になっていませんか？
- モニターシステムは、きちんと接続されていますか？
- モニターシステムの音量が最小になっていませんか？
- 本機の出カレベル設定が最小になっていませんか？

### ● 記録（録画／録音／撮影）できない。

↓

- 接続をもう一度確認してください。
- 入力設定をもう一度確認してください。
- 入力レベルが低くなっていませんか？
- microSDカード容量がいっぱいになっていませんか？
- ファイル数が最大数に達していませんか？

## 第12章 トラブルシューティング

### ● 入力レベルが低い。



- 入力レベル設定が低くなっていませんか？
- ゲイン設定が低くなっていませんか？
- 接続した外部機器の出力レベルが低くなっていませんか？

### ● 録音しようとする音が歪んで聞こえる。



- 入力レベル（INPUTボリューム）の設定が大きすぎませんか？

### ● 再生音が不自然に聞こえる。



- 再生のスピードを変えていませんか？

### ● ファイルが消去できない。



- パソコンで読み取り専用を設定したファイルをコピーしたものを消去しようとしていませんか？

### ● パソコン上に本機のファイルが表示されない。



- 本機がUSB端子経由でパソコンに接続されていますか？
- USBハブを使っていませんか？
- 本機が記録（録画／録音／撮影）待機中、または記録（録画／録音／撮影）中になっていませんか？



## 定格

### 記録メディア

microSDカード (64MB ~ 2GB)  
 microSDHCカード (4GB ~ 32GB)

### 動画再生フォーマット

MOV  
 動画圧縮方式 : MPEG4-SP  
 音声 : WAV 44.1k/48kHz、16/24ビット  
 動画サイズ : SD 640×480 / 30fps  
 HD 1280×720 / 30fps

### 録音再生フォーマット

WAV : 44.1k/48k/96kHz、16/24ビット

### 静止画フォーマット

サイズ : 0.3M 640×480  
 0.9M 1280×720

### チャンネル数

画像 : 1系統  
 音声 : 2チャンネル (ステレオ)

## 入出力定格

### アナログオーディオ入出力定格

#### MIC/LINE IN端子 (プラグインパワー対応)

コネクター : 3.5mm (1/8") ステレオミニジャック

#### "INPUT SELECT" 項目 "MIC" 時

入カインピーダンス : 25k $\Omega$   
 基準入力レベル  
 GAIN LOW : -32dBV  
 GAIN MID : -48dBV  
 GAIN HIGH : -64dBV  
 最大入力レベル  
 GAIN LOW : -16dBV  
 GAIN MID : -32dBV  
 GAIN HIGH : -48dBV

#### "INPUT SELECT" 項目 "LINE" 時

入カインピーダンス : 22k $\Omega$   
 基準入力レベル : -10dBV (0.32V)  
 最小入力レベル : -22dBV (0.08V)  
 最大入力レベル : +6dBV (2.0V)

#### $\Omega$ / LINE OUT端子

コネクター : 3.5mm (1/8") ステレオミニジャック  
 出カインピーダンス : 12 $\Omega$   
 基準出力レベル : -14dBV (10k $\Omega$ 負荷時)  
 最大出力レベル : +2dBV (10k $\Omega$ 負荷時)  
 最大出力 : 15mW + 15mW (32 $\Omega$ 負荷時)

## 第13章 仕様

### 内蔵スピーカー

0.6W (モノラル)

### 内蔵マイク

エレクトレットコンデンサーマイクロホン×2 (ステレオ)

指向性 : 単一  
感度 : -37dB at 1kHz (0dB=1V/Pa) RL=2k $\Omega$ ,  
Vcc=3V

インピーダンス: 1.4k $\Omega$   $\pm$ 30% at 1kHz (RL=2k $\Omega$ )

S/N比 : 74dB Typ. at 1kHz (A-Weight)

最大入力音圧 : 120dB S.P.L

### 内蔵カメラ

イメージセンサー

撮像素子 : 1/4型CMOSセンサー  
画素数 : 100万画素 (1280 x 800)

レンズ

画角 : 64度  
焦点距離 : 39cm~無限大

---

## オーディオ性能

---

### 周波数特性

20-20kHz +1/-3dB  
(LINE IN to LINEOUT, Fs44.1kHz, JEITA)  
20-22kHz +1/-3dB  
(LINE IN to LINEOUT, Fs48kHz, JEITA)  
20-40kHz +1/-3dB  
(LINE IN to LINEOUT, Fs96kHz, JEITA)

### 歪率

0.02%以下 (LINE IN to LINE OUT, Fs44.1k/48k/96k Hz, JEITA)

### S/N 比

90dB以上 (LINE IN to LINE OUT, Fs44.1k/48k/96k Hz, JEITA)

注) JEITA : JEITA CP-2150準拠

---

## コントロール入出力定格

### USB 端子

コネクター : Mini-B タイプ  
フォーマット : USB2.0 HIGH SPEED マスストレージクラス

### ミニHDMI端子

コネクター : ミニHDMI端子 (Type C)

## 接続するパソコンの動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) をご確認ください。

### Windowsマシン

Pentium 300MHz以上  
128MB 以上のMemory  
USBポート (推奨 : USB2.0)

### Macintoshマシン

Power PC、iMac、G3、G4 266MHz以上  
64MB以上のMemory  
USBポート (推奨 : USB2.0)

### 推奨USBホストコントローラー

Intel製チップセット

### サポートOS

Windows : Windows XP、Windows Vista、Windows 7  
Macintosh : Mac OS X 10.2以上

## 一般

### 電源

単3形電池3本 (アルカリ乾電池またはニッケル水素電池)  
ACアダプター (TASCAM PS-P520、別売)

### 消費電力

0.9W (最大時)

### 電池持続時間 (連続使用時)

- アルカリ乾電池 (EVOLTA) 使用時

動作モード	フォーマット	持続時間	備考
動画モード	48kHz、24ビット、画像サイズ : HD-720pで録画	約3.5時間	内蔵ステレオマイク ヘッドホン使用時
	44.1kHz、16ビット、画像サイズ : SD-VGAで録画	約4.5時間	内蔵ステレオマイク ヘッドホン使用時
	48kHz、24ビット、画像サイズ : HD-720pで再生	約4.5時間	ヘッドホン使用時
	44.1kHz、16ビット、画像サイズ : SD-VGAで再生	約5.5時間	ヘッドホン使用時
音声モード	96kHz、24ビットで録音*	約5時間	内蔵ステレオマイク ヘッドホン使用時
	44.1kHz、16ビットで録音*	約6時間	内蔵ステレオマイク ヘッドホン使用時
	96kHz、24ビットで再生*	約6時間	ヘッドホン使用時
	44.1kHz、16ビットで再生*	約6.5時間	ヘッドホン使用時

\* 録音時 : JEITA録音時、再生時 : JEITA音楽再生時

## 第13章 仕様

### ● ニッケル水素電池 (eneloop) 使用時

動作モード	フォーマット	持続時間	備考
動画モード	48kHz、24ビット、画像サイズ：HD-720pで録画	約4.5時間	内蔵ステレオマイク ヘッドホン使用時
	44.1kHz、16ビット、画像サイズ：SD-VGAで録画	約5.5時間	内蔵ステレオマイク ヘッドホン使用時
	48kHz、24ビット、画像サイズ：HD-720pで再生	約5時間	ヘッドホン使用時
	44.1kHz、16ビット、画像サイズ：SD-VGAで再生	約6時間	ヘッドホン使用時
音声モード	96kHz、24ビットで録音*	約5.5時間	内蔵ステレオマイク ヘッドホン使用時
	44.1kHz、16ビットで録音*	約6.5時間	内蔵ステレオマイク ヘッドホン使用時
	96kHz、24ビットで再生*	約5時間	ヘッドホン使用時
	44.1kHz、16ビットで再生*	約6時間	ヘッドホン使用時

\* 録音時：JEITA録音時、再生時：JEITA音楽再生時

### 外形寸法

70×131×28mm (幅×高さ×奥行き)

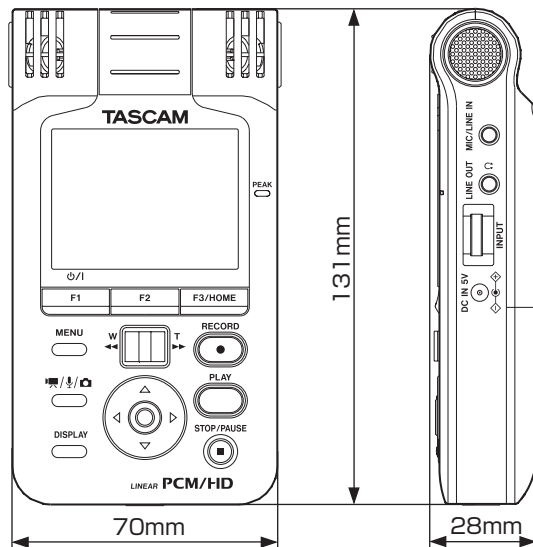
### 質量

157g (電池を含みます)

### 動作温度

0～35℃

### 寸法図



- \* 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- \* 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

# 第14章 ソフトウェアなどに関する重要なお知らせ

## ソフトウェア使用許諾契約書

### 重要 よくお読みください。

この使用許諾契約書は、貴方（法人、個人の両者を含みます）とティアック株式会社（以下、弊社といいます）との間のソフトウェア（コンピュータプログラム、オンライン文書もしくは電子文書を含みます、また、提供された場合には、関連する記録媒体及び印刷物も含みます、以下総称して、本ソフトウェアといいます）に関する契約となります。インストールやコピーその他の本ソフトウェアを使用することにより、貴方は、本契約の条件に従うことに合意したものとみなされます。本契約の条件に同意されない場合は、本ソフトウェアをご使用頂くことはできません。

#### 1. 使用許諾

本契約は、貴方に以下の権利を許諾します。

使用及びコピー：弊社は、本ソフトウェアを貴方が弊社より入手して頂き、保有されている装置（以下、貴方の装置といいます）のために使用する権利を許諾します。全ての貴方の装置にて使用する為に、本ソフトウェアのコピーを作成することができます。また、バックアップ用としてコピーを作成することができます。

#### 2. 制限事項

本ソフトウェアのコピーを第三者に頒布することはできません。

本ソフトウェアを貸与することはできません。

貴方は本ソフトウェアに関して逆アセンブル、逆コンパイルなどのソースコード解析を行ってはなりません。

#### 3. 解約

本契約に基づく貴方の権利は、貴方の装置の処分と同時に失効します。また、貴方が本契約に違反した場合、弊社は、貴方に対するその他の一切の請求権を留保したまま、貴方の権利を失効させることができます。その場合、貴方は本ソフトウェアの全てのコピーを廃

棄しなければなりません。

#### 4. 著作権

本ソフトウェア及びそのコピーに関する全ての権原及び著作権は、弊社若しくはその供給者に留保されます。本ソフトウェアの使用に際してアクセスされるその内容物に関する全ての権原及び著作権は、それぞれの所有者に帰属し、適用される著作権及び知的財産権に関する法規及び国際条約により保護されています。本契約は、貴方にその内容物に関するいかなる権利を許諾するものではありません。

#### 5. 保証の制限

本ソフトウェアは、貴方の責任にてご使用頂くものです。本ソフトウェアは、貴方の装置にて使用されることを前提として提供されず。適用される法規により許される限りにおいて、弊社及びその供給者は、商品性に関する黙示の担保責任、特定目的への適合性、および非侵害を含め、明示、黙示を問わず、何らの保証をするものではありません。

#### 6. 派生的損害についての免責

適用される法規により許される限りにおいて、弊社及びその供給者は、本ソフトウェアの使用、若しくは使用不能に起因して生じた、事業上の利益の損失、事業上の障害、事業上の情報の消失による損害、その他の金銭的な損害を含め、いかなる特定の偶発的、間接的若しくは派生的損害についても、責任を負いません。例え、弊社がそれらの損害発生の可能性について知らされていた場合も同様です。法規若しくは裁判所の判断により、上記の派生的、偶発的損害についての責任の除外若しくは制限が許されない場合、上記制限は貴方に適用されません。

#### 7. 責任の上限

本契約に基づく弊社の賠償責任額および貴方の求償額は、いかなる場合も貴方の装置を貴方が購入した価額を超えないものとします。

## 第14章 ソフトウェアなどに関する重要なお知らせ

### 8. その他

本契約は、日本国の法律により支配されます。

#### 注意

写真、絵画、音楽、映像、コンピュータプログラム、データベース等の著作物は、著作権法その他の法規、または、お客様との間で締結される使用許諾契約に基づき、その複製や使用について制限されることがあります。複製等をされる前に、著作物毎の条件を充分ご確認の上、本装置を適正にご使用くださいますようお願い致します。

弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

#### 免責事項

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。

従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、又は、これらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

### パッケージリスト

(GNU GPL)

Linux-kernel.tar.gz  
Advanced Linux Sound Architecture (ALSA)  
busybox

(BSD)

DMAI

## GNU GPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

### 本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアで構成され、個々のソフトウェアは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

本製品には、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License（以下、「GPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアを配布する条件として、当該ソフトウェアのソースコードの入手を可能にするように求めています。当該ソースコードの入手を希望される場合は、以下のURLにアクセスの上、登録フォームからご要求ください。

ホームページアドレス

<http://www.teac.co.jp/support/opensource/index.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、予め御了承ください。

「GPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL」に基づいて配布されるソフトウェアは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損

## 第14章 ソフトウェアなどに関する重要なお知らせ

害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、「GPL」をお読みください。本製品に組み込まれた「GPL」の対象となるソフトウェアをお客様自身でご利用頂く場合は、本製品に組み込まれた「GPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、以下のGNU GENERAL PUBLIC LICENSEをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお、当該ライセンスは第三者による規定のため、原文（英文）を記載します。

---

### GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA  
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

#### Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.)

You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you

receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights.

These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

## 第14章 ソフトウェアなどに関する重要なお知らせ

### GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License.

(Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the



## 第14章 ソフトウェアなどに関する重要なお知らせ

Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution

and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These

## 第14章 ソフトウェアなどに関する重要なお知らせ

actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices.

Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of

## 第14章 ソフトウェアなどに関する重要なおしらせ

any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

### NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY

AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

### END OF TERMS AND CONDITIONS

#### How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

## 第14章 ソフトウェアなどに関する重要なお知らせ

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY;
for details type `show w'.
```

```
This is free software, and you are welcome to redistribute it
under certain conditions; type `show c' for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouseclicks or menu items-- whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

```
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the
program `Gnomovision' (which makes passes at compilers)
```

```
written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice
```

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library.

---

### BSD適用ソフトウェアに関するお知らせ

---

#### BSD

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - <http://www.ti.com/>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,

DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00 / 13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



**0120-152-854**

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

## 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858  
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。



**0570-000-501**

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。

このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## ユーザー登録に関して

TASCAMのウェブサイト(<http://tascam.jp/>)にて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

## ティアック株式会社

〒206-8530  
東京都多摩市落合 1-47  
<http://tascam.jp/>